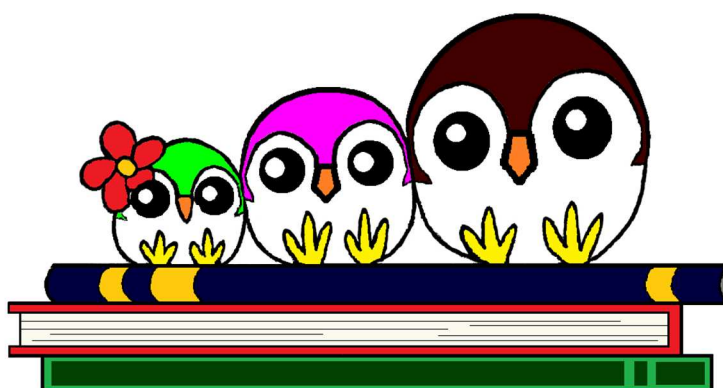


福津市の図書館評価（令和6年度版）

～市民の人生と地域を豊かにする図書館を目指して～



福津市教育委員会

郷育推進課（福津市立図書館）

目次

はじめに	1
1. 評価の概要	2
2. 評価にあたっての基本方針	2
3. 図書館評価の方法	3
(1) 評価項目と評価指標	3
(2) 評価方法	3
(3) 評価サイクル	4
4. 評価の結果	5
(1) 評価の説明	9
(2) 分析	10
評価項目① 市民のニーズに応える幅広い資料の充実	10
評価項目② 市民の自主的・自発的な生涯学習活動の推進	11
評価項目③ 利用しやすく、ゆっくり滞在できる環境の構築	13
評価項目④ 仕事や活動に役立つ資料等の提供	15
評価項目⑤ 課題解決に役立つレファレンスの充実	15
評価項目⑥ 市民との連携・共働体制の構築	16
評価項目⑦ 職員の専門性の向上	17
評価項目⑧ 福津の魅力発見等に役立つ環境づくり	18
評価項目⑨ さまざまな個性や市民性を育む教育活動への支援	19
評価項目⑩ 郷土の歴史や文化が学べる環境の整備	20
(3) 図書館協議会の意見	21
5. 参考資料	23
(1) 令和6年度 図書館運営方針	23
(2) 令和6年度 福津市公共図書館の事業報告	26
(3) 福津市図書館の経営方針（抜粋）	33
(4) 図書館利用に関するアンケート	36
(5) 福津市の図書館	41

※本年報では、福津市みんなですすめるまちづくり基本条例に準じ、「お互いの立場や特性を尊重し、共に行動する」意味を表す言葉として、『共働』（きょうどう）という表記を使用しています。

はじめに

福津市における図書館法第7条の3の規定に基づく「運営の状況に関する評価等」は、令和3（2021）年度まで、図書館年報に記載している、「サービス指標（市民1人当たりの貸出数・蔵書冊数、蔵書回転率等の指標）」や「利用者満足度調査」を公表しているだけでした。市の行政評価や教育委員会の点検・評価の対象も主要事業だけであり、図書館事業の施策体系や全体像が把握できず、次年度以降の図書館経営や事業計画等に活かしきれない状況にあります。

近年、公共図書館には、地域活性化、まちづくりなどの拠点として新たな役割を果たすことや、地域の課題解決に向けた学習と活動の拠点として地域社会に貢献することなどが求められています。地方自治体の行財政状況も年々厳しさを増しており、客観的根拠に基づく政策立案や費用対効果の高い行政経営の必要性が高まっています。

これからの公共図書館は、資料を収集・保存・提供し、市民の教養、調査研究、レクリエーション等に資するという図書館本来の目的に加え、市民生活を支える「知の拠点」、人づくり、地域づくりを担う「交流拠点」としての施設機能と経営資源を有効に活用し、より一層幅広く情報発信や事業展開を図っていく必要があると言えます。

教育委員会では、基本理念に「市民の人生と地域を豊かにする図書館」を掲げた、「福津市図書館の経営方針」を令和3年10月に策定しました。令和4年度から福津市の図書館は、人づくり、地域づくりに貢献できる「知の交流拠点」として、市民に愛され、市民の期待に応え、市民とともに進化し続ける図書館づくりを進めています。

この経営方針の計画期間は、令和4（2022）年度から令和8（2026）年度までの5年間とし、社会経済情勢や法令の改正等を踏まえ、必要に応じ方針の見直しを行うとしています。進行管理の方法は、マネジメント（PDCA）サイクルに基づき、毎年度の運営方針と目標を定め、取組状況を検証し次年度以降の事業活動等に活かします。また、事業年度終了後には、目標の達成状況、成果と課題等を図書館評価に記載して、図書館協議会と教育委員会に報告し公表することになっています。

このように福津市の図書館評価は、経営（運営）方針に基づく取組項目を評価・検証し、図書館経営に役立てたり、説明責任を果たしたりするために行うものですが、導入初年度であり評価項目（指標）の設定や評価方法等が完全なものになっていないとは言えません。これは、図書館協議会からの指摘事項でもあり、精度を高めていく必要があります。今後も図書館の経営改善・改革、読書活動の推進や図書館サービスの向上を図るために、国、県、先進自治体を調査研究するとともに、図書館協議会で議論を深めながら、図書館評価制度をさらに進化（昇華）させたいと考えます。

1. 評価の概要

この評価は、「福津市図書館の経営方針（令和3年10月策定）」に掲げた「市民の人生と地域を豊かにする図書館」の実現のため、及び、図書館法第7条の3に基づき、図書館の経営改善と図書館サービスの向上を図るために行うものです。

各年度の経営に関する目標及び指標を設定し、図書館サービス、図書館の経営状況について、目標の達成状況の評価を行い、結果を公表します。

2. 評価にあたっての基本方針

福津市の図書館は、一人ひとりの自己実現、誰もが地域の担い手や未来の創り手となれるよう、市民生活を支える「知の拠点」、人づくりと地域づくりを担う「交流拠点」として、令和4年度から令和8年度までの5年間にわたり、新しい交流や文化の創造に貢献できる図書館づくりを推進します。

令和6年度は、図書館経営方針の基本理念である「市民の人生と地域を豊かにする図書館（知の交流拠点）」の実現を目指し、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、3つの方向性（学びの拠点、創造と交流の拠点、知の集積拠点）から図書館サービスの向上・充実に取り組みます。

目標(方向性)1 学びの拠点:本(情報)との出会い、生涯学習活動等を支える図書館づくり

〔市民に愛され、市民を育み、輝かせる「学びの拠点」〕

- 市民のニーズに応える幅広い資料の充実を図ります。
- 市民の自主的・自発的な生涯学習活動を支援します。
- 利用しやすく、ゆっくり滞在できる環境づくりを進めます。

目標(方向性)2 創造と交流の拠点:ともに支え合い高め合う図書館づくり

〔市民と共働り、まちづくりを支える「創造と交流の拠点」〕

- 仕事や活動に役立つ資料等の提供を行います。
- 課題解決に役立つレファレンスの充実を図ります。
- 市民参画、市民との連携・共働りの体制づくりを支援します。
- 職員の専門性の向上に努めます。

目標(方向性)3 知の集積拠点:シビックプライドの醸成に貢献する図書館づくり

〔郷土の歴史や文化を未来につなげる「知の集積拠点」〕

- 福津の魅力発見や市民の「知りたい」に役立つ図書館づくりを進めます。
- 学校との連携・共働りを深め、さまざまな個性や市民性が育つことを支援します。
- 郷土の歴史や文化を学ぶための環境整備を図ります。

※本評価では、福津市みんなですすめるまちづくり基本条例に準じ、「お互いの立場や特性を尊重し、共に行動する」意味を表す言葉として、『共働り』(きょうどう)という表記を使用しています。

3. 図書館評価の方法

(1) 評価項目と評価指標

令和6年度の図書館運営方針に基づき、10の評価項目と具体的な評価指標を定めます。

[目標1] 学びの拠点: 本(情報)との出会い、生涯学習活動等を支える図書館づくり

(評価項目①～③)

図書館利用の促進、資料(情報)の収集・保存・提供、シニア・障がい者等の利便をはかる環境づくり、ICTを活用したサービスの充実等につながる指標を設定し評価します。

- ①市民のニーズに応える幅広い資料の充実
- ②市民の自主的・自発的な生涯学習活動の推進
- ③利用しやすく、ゆっくり滞在できる環境の構築

[目標2] 創造と交流の拠点: ともに支え合い高め合う図書館づくり

(評価項目④～⑦)

市民との共働、関係機関等との連携・協力の推進、職員の資質向上につながる指標を設定し評価します。

- ④仕事や活動に役立つ資料等の提供
- ⑤課題解決に役立つレファレンスの充実
- ⑥市民との連携・共働体制の構築
- ⑦職員の専門性の向上

[目標3] 知の集積拠点: シビックプライドの醸成に貢献する図書館づくり

(評価項目⑧～⑩)

地域の歴史と文化の保存・活用、子どもの読書活動推進等につながる指標を設定し評価します。

- ⑧福津の魅力発見等に役立つ環境づくり
- ⑨さまざまな個性や市民性を育む教育活動への支援
- ⑩郷土の歴史や文化が学べる環境の整備

(2) 評価方法

評価は、「指標別評価(3段階評価)」と「図書館の自己評価(4段階評価)」の二つを用いることにしました。

① 指標別評価

指標別評価は、各指標の目標値と実績値を比較して割り出された目標達成率で設定された「評点3から1までの3段階」で行います。

指標別評価 (評点)	目標達成率 (年度実績/年度目標×100)
3	目標値の90%以上
2	目標値の70%以上90%未満
1	目標値の70%未満

評価項目の指標、数値目標の基準、年度目標等は、図書館協議会の意見を聴き、必要に応じ見直します。

②図書館の自己評価

取組内容を明確に評価できるように、評価基準を設けています。評価は、評価項目ごとに指標別評価(評点)の平均点を算出し「評価基準」に基づき設定された「AからDまでの4段階」で行います。この評価は、図書館の自己評価となります。

評価	評価基準	評点の平均
A	目標を達成できた	2.7以上
B	目標をほぼ達成できた	2.4以上2.7未満
C	目標をあまり達成できなかった	1.8以上2.4未満
D	目標を達成できなかった	1.0以上1.8未満

③関係者(図書館協議会)の意見

福津市公共図書館評価票(自己評価及び改善策等)については、福津市立図書館協議会に報告し、評価項目全体を通しての意見聴取を行います。

□視点

- ・自己評価の内容は適切か。
- ・自己評価を踏まえた改善策は適切か。
- ・評価指標の設定が適切か。

(3) 評価サイクル

- ①評価指標・目標値等の策定
- ②事業の実施
- ③利用者アンケートの実施
- ④自己評価
- ⑤分析・次年度への反映
- ⑥報告(図書館協議会・教育委員会)
- ⑦評価結果の公表

4. 評価の結果

令和6年度の評価結果は、次表のとおりです。

令和6年度 福津市図書館評価一覧

令和6年度の運営方針	評価	主な指標		評点		
<p>(1) 市民に愛され、市民を育み、輝かせる「学びの拠点」</p> <p>[本(情報)との出会い、生涯学習活動等を支える図書館づくり]</p>	①市民のニーズに応える幅広い資料の充実を図ります。 [評価項目：①市民のニーズに応える幅広い資料の充実]					
	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生涯学習を支援する資料の収集、保存、提供 計画的な蔵書管理（体系的な資料の収集・廃棄） 特別整理（蔵書点検）期間を設け全館資料の整理・点検等の実施 郷土資料、行政資料の収集、保存、提供 障がい者や活字弱者に対する適切な資料の収集と提供 非来館型サービス、読書バリアフリーの推進を図る電子図書館サービスの実施 	A	資料数（蔵書数）	全体	3	
				図書	3	
				障がい者対応	3	
			市民1人当たりの資料数		3	
			電子図書館サービス	提供資料数	3	
			資料費	全体	3	
				うち図書	2	
				うち電子図書	3	
			市民1人当たりの資料費（図書）		2	
			図書資料についての利用者満足度（資料の豊富さ、充実度）	一般書	3	
				児童書	3	
	指標別評価（評点）の平均		2.8			
	②市民の自主的・自発的な生涯学習活動を支援します。 [評価項目：②市民の自主的・自発的な生涯学習活動の推進]					
	<ul style="list-style-type: none"> 図書館行事（講演会・講座・映画会・資料展示等）の実施 市民活動団体、自主学習グループ等への発表の場の提供 郷育カレッジとの連携による講座開催 行政機関や他機関（団体）との連携による多様な学習機会（コラボイベント）の提供 	A	貸出資料数（電子図書館を除く）	全体	3	
				シニア(60歳以上)等の利用状況	利用者数	3
			貸出資料数		3	
			市民1人当たり貸出資料数（電子図書館を除く）		3	
			資料回転率（電子図書館を除く）		2	
			電子図書館サービス	貸出点数	2	
資料回転率				3		
閲覧回数				3		
映画会			開催回数	1		
一般市民向け、講座、講演会、セミナー等			開催回数	3		
			参加者数	3		
展示会等	開催回数	3				
指標別評価（評点）の平均		2.7				

令和6年度の運営方針	評価	主な指標	評点	
<p>③利用しやすく、ゆっくり滞在できる環境づくりを進めます。 [評価項目：③利用しやすく、ゆっくり滞在できる環境の構築]</p>				
<p>・貸出以外でも利用しやすい環境づくり</p> <p>・図書館ホームページの充実、図書館情報誌（広報誌）の刊行</p> <p>・広報活動・情報発信、インターネット等による利用促進、情報の提供</p>	A	年間開館日数（2館平均）	3	
		市民登録率	3	
		来館者数	3	
		貸出利用者数	2	
		予約・リクエスト件数（電子図書館を除く）	2	
		図書館費総額	3	
		市民一人当たりの図書館費	3	
		利用者アンケート満足度（総合的な評価）	3	
		指標別評価（評点）の平均	2.8	
<p>(2) 市民と共働り、まちづくりを支える「創造と交流の拠点」 [ともに支え合い高め合う図書館づくり]</p> <p>①仕事や活動に役立つ資料等の提供を行います。 [評価項目：④仕事や活動に役立つ資料等の提供]</p>				
<p>・カメラアステージ図書館と役割分担・連携による「ビジネスコーナー」「医療・健康情報コーナー」「子育て支援コーナー」などの充実</p> <p>・関係機関と連携によるチラシやパンフレット等の資料の収集と提供</p> <p>・関連講座等の開催、テーマ展示による情報提供などの検討</p> <p>・暮らしや仕事に役立つセミナーの開催や各種専門機関との連携</p>	C	連携事業の連携先機関数	2	
		自治体、企業、各種団体等と連携して実施した事業の件数	1	
		暮らしに役立つ講座・セミナーの開催	回数	3
			参加者数	3
		指標別評価（評点）の平均	2.3	
<p>②課題解決に役立つレファレンスの充実を図ります。 [評価項目：⑤課題解決に役立つレファレンスの充実]</p>				
<p>・国立国会図書館協同データベースへの登録とその活用</p> <p>・ホームページや電子メール等によるレファレンスサービスの検討</p> <p>・商用データベース（新聞・雑誌、政策・法律、自然科学・医学、事典・辞書等）導入に向けての研究</p> <p>・他の図書館とのネットワークや関連機関との連携体制の強化</p>	A	レファレンスに関する利用者満足度	3	
		図書館間相互貸借資料数	貸出資料数	2
			借受資料数	3
		指標別評価（評点）の平均	2.7	

令和6年度の運営方針	評価	主な指標	評点	
<p>③市民参画、市民との連携・共働の体制づくりを支援します。 [評価項目：⑥市民との連携・共働体制の構築]</p>				
<ul style="list-style-type: none"> ・人と人との交流を生み出す仕掛けづくりや図書館施設等の利用促進 ・地域コミュニティや目的別コミュニティとの連携 ・読書ボランティア、図書館運営サポートボランティア等の育成、連携及び支援 ・未来共創センター、市民共働・公民連携によるまちづくり活動への情報提供・活動場所の提供 ・子ども読書活動推進ボランティアとの共催による「読書まつり」の開催 	C	読書ボランティア派遣回数	3	
		読書ボランティア養成講座受講者数	2	
		児童書等団体貸出資料	3	
		雑誌スポンサー制度	協力者数	2
			タイトル数	1
		指標別評価（評点）の平均	2.2	
<p>④職員の専門性の向上に努めます。 [評価項目：⑦職員の専門性の向上]</p>				
<ul style="list-style-type: none"> ・地域やまちづくりの課題解決のための情報提供 ・スキルアップ研修や実務研修等への参加による先進情報の収集、資質・能力の向上 ・研修内容の共有化 	C	組織内研修の実施回数(2館平均)	2	
		専門性の向上につながる研修の受講	1	
		職員1人当たりの研修参加回数(2館平均)	3	
		指標別評価（評点）の平均	2.0	

令和6年度の運営方針	評価	主な指標		評点	
<p>(3) 郷土の歴史や文化を未来につなげる「知の集積拠点」</p> <p>[シビックプライドの醸成に貢献する図書館づくり]</p>	<p>①福津の魅力発見や市民の「知りたい」に役立つ図書館づくりを進めます。 [評価項目：⑧福津の魅力発見等に役立つ環境づくり]</p>				
	<ul style="list-style-type: none"> ・地域資料や行政資料の収集・活用・保存（再掲） ・郷土学習や次世代への継承に役立てる資料のデジタルアーカイブ化の検討 ・行政、郷育カレッジや関係団体等との連携によるまちの歴史・特色など魅力的な情報や学びの場の提供 	A	地域資料数	3	
			デジタル化した地域資料数	3	
			講座、講演会、セミナー等のうち市の歴史・文化等に関連性のあるもの	回数	3
				参加者数	3
			指標別評価（評点）の平均		3.0
	<p>②学校との連携・共働を深め、さまざまな個性や市民性が育つことを支援します。 [評価項目：⑨さまざまな個性や市民性を育む教育活動への支援]</p>				
	<ul style="list-style-type: none"> ・学校や学校図書館との連携 ▶市内小学校への長期貸出・リクエスト貸出・レファレンス対応、中・高校生へ向けてのヤングアダルトコーナーの充実、図書館見学、職場体験、インターンシップの受け入れ、社会に開かれた教育課程の実現に向けた学校（学校図書館）への支援など ・子育て世代や児童・生徒の読書活動への支援 ▶乳児とその保護者を対象とした「赤ちゃんとのしむ絵本」の刊行とブックスタート事業の実施、子ども情報誌の刊行やおはなし会の開催、保育園等への支援、読書ボランティアの育成や派遣、子育て支援コーナーの充実、子ども司書養成講座・フォローアップ講座の開催など 	B	資料（児童書）数	3	
			子ども(18歳以下)の貸出冊数	3	
			施設向け絵本セット貸出サービス	貸出回数	3
			おはなし会	開催回数	2
				参加者数	2
社会科見学等の図書館見学受入回数			2		
職場体験（小・中学生等）の受入件数			3		
子ども司書養成講座受講者数			3		
指標別評価（評点）の平均		2.6			
<p>③郷土の歴史や文化を学べるための環境整備を図ります。 [評価項目：⑩郷土の歴史や文化が学べる環境の整備]</p>					
<ul style="list-style-type: none"> ・歴史資料館との連携による歴史・郷土学習への支援 ・行政、郷育カレッジや関係団体等との連携によるまちの歴史・特色など魅力的な情報や学びの場の提供 ・関係機関、地域活動団体、ボランティア団体等と連携・共働による図書館資源を活かしたサービスの提供 	A	郷土学習支援、講座、セミナー、講演会等（行政、歴史資料館等との連携）	回数	3	
			参加者数	3	
		文化事業（展示会）の開催回数		3	
		指標別評価（評点）の平均		3.0	

(1) 評価の説明

令和6年度の図書館運営方針に掲げる3つの方向性の達成度を評価する、10の評価項目の状況をみると、次のとおりとなりました。評価の詳細は「(2)の分析」に記載しています。

目標1「学びの拠点：本（情報）との出会い、生涯学習活動等を支える図書館づくり」は、「①市民のニーズに応える幅広い資料の充実」「②市民の自主的・自発的な生涯学習活動の推進」「③利用しやすく、ゆっくり滞在できる環境の構築」いずれも評価Aとなっています。

この結果から、目標1「学びの拠点（評価項目の評点平均：2.82）」については、目標を「達成できた」と判断できます。

目標2「創造と交流の拠点：ともに支え合い高め合う図書館づくり」は評価Aが1つ、評価Cが3つでした。評価Aは「⑤課題解決に役立つレファレンスの充実」で、評価Cは「④仕事や活動に役立つ資料等の提供」「⑥市民との連携・共働体制の構築」「⑦職員の専門性の向上」となっています。

この結果から、目標2「創造と交流の拠点（評価項目の評点平均：2.30）」については、目標を「あまり達成できなかった」と判断できます。

目標3「知の集積拠点：シビックプライドの醸成に貢献する図書館づくり」では評価Aが2つ、評価Bが1つでした。評価Aは「⑧福津の魅力発見等に役立つ環境づくり」「⑩郷土の歴史や文化が学べる環境の整備」、評価Bは「⑨さまざまな個性や市民性を育む教育活動への支援」となっています。

この結果から、目標3「知の集積拠点（評価項目の評点平均：2.87）」については、目標を「達成できた」と判断できます。

評価A（評点 2.7～3.0）	評価B（評点 2.4～2.6）
①市民のニーズに応える幅広い資料の充実 ②市民の自主的・自発的な生涯学習活動の推進 ③利用しやすく、ゆっくり滞在できる環境の構築 ⑤課題解決に役立つレファレンスの充実 ⑧福津の魅力発見等に役立つ環境づくり ⑩郷土の歴史や文化が学べる環境の整備	⑨さまざまな個性や市民性を育む教育活動への支援
評価C（評点 1.8～2.3）	評価D（評点 1.0～1.7）
④仕事や活動に役立つ資料等の提供 ⑥市民との連携・共働体制の構築 ⑦職員の専門性の向上	（なし）

(2) 分析

令和6年度の評価項目別の成果と課題等、指標別の達成状況、令和7年度の数値目標については、以下のとおりです。

目標(方向性)1 学びの拠点:本(情報)との出会い、生涯学習活動等を支える図書館づくり

評価項目① 市民のニーズに応える幅広い資料の充実						
取組内容		<ul style="list-style-type: none"> 市民の生涯学習を支援する資料の収集、保存、提供 郷土資料、行政資料の収集、保存、提供 障がい者や活字弱者に対する適切な資料の収集と提供 非来館型サービス、読書バリアフリーの推進を図る電子図書館サービスの実施 計画的な蔵書管理(体系的な資料の収集・廃棄) 特別整理(蔵書点検)期間を設け全館資料の整理・点検等の実施 				
		指標	令和6年度の状況			評価
		目標値	実績	達成率		
資料数 (蔵書数)	全体	262,047冊	265,983冊	101.5%	3	264,000冊
	図書	244,891冊	248,112冊	101.3%	3	247,000冊
	障がい者対応	1,184冊	1,332冊	112.5%	3	1,300冊
市民1人当たりの資料数		3.8冊	3.8冊	100.0%	3	3.8冊
電子図書館	提供資料数	5,500点	6,002点	109.1%	3	5,500点
資料費	全体	19,235千円	18,839千円	97.9%	3	18,636千円
	図書	13,946千円	12,265千円	87.9%	2	12,200千円
	電子図書	1,800千円	2,180千円	121.1%	3	1,880千円
市民1人当たりの資料費(図書)		203円	177円	87.2%	2	176円
図書資料についての利用者満足度	一般書	90.0%	83.9%	93.2%	3	90.0%
	児童書	90.0%	94.9%	105.4%	3	90.0%
指標別評価(評点)の平均					2.8	

※「市民1人当たり」を算定するための人口は、令和7(2025)年3月31日現在の住民基本台帳人口(69,200人)を用いています。

【成果と課題】

○資料の収集、保存、提供

「資料数」は目標を上回りましたが、人口増にもかかわらず資料費等は年々減額され、「市民1人当たりの資料数・資料費」は目標を下回りました。

「図書館利用に関するアンケート調査(令和7年1月実施)」では、不満の理由の1番が、一般書、視聴覚資料の種類や数が少ないということでした。図書館への要望としても「図書や雑誌の充実」が最も多く、学習室や自由空間など居場所の整備、生活や仕事に役立つ情報の提供、乳幼児や児童生徒への読書活動の支援などの声も上がっています。

福津市の財政状況は、今後、さらに厳しくなることが予測されており、資料収集や学習活動支援のための財源確保が課題となっています。

○電子図書館サービス

電子図書館の成果としては、利便性やサービスの向上、高齢者や障がい者へのサービス充実・利用促進、ヤングアダルトの読書意欲の向上・読書活動の推進、来館時間の確保や来館すること自体が難しい利用者への読書機会の提供、学校における1人1台端末の有効活用、授業や朝の読書活動への活用による読書環境の充実等が期待できます。

「児童書読み放題パックサービス」の提供により、学校支援のために、マルチライセンス型（同時接続数無制限）の電子図書を導入し、児童向け資料数の少なさを少しずつ補完できるようにしました。

その一方、「電子図書の充実(魅力的な蔵書構成)」と「広報活動による利用促進」が課題となっています。電子図書(公共図書館用)の出版点数が少ないこと、紙の本に比べ購入費が高く市の提供数も約6,002点(令和7年3月現在)と限られていることから、多様な利用者ニーズに応えきれない状況です。

【今後の方向性・改善策等】

○資料の収集、保存、提供

福津市の公共図書館は、利用者サービスの向上と業務の効率化の両面から図書館経営のあり方を模索しながら、限りある財源の有効活用を図るとともに、資料費等の予算の増額に向けて努力してまいります。また、計画的な蔵書管理を行い、市民の生涯学習活動に必要な資料の収集等に努めます。

○電子図書館サービス

福津市特有の問題として、大規模な小・中学校については、蔵書冊数の不足や、学校図書館利用にも制限がかかっています。読書活動の推進、読書環境の整備といった観点から、学校支援のための児童書や電子図書を充実する必要があります。

電子図書館は、「音声読み上げ機能」や「文字の大きさ変更」など読書バリアフリーに対応した機能を有し、時間と空間の制限もなく、高齢者や障がい者の方へのサービス充実も図れることから、積極的な広報活動や予算確保を行い、利用促進につなげます。

評価項目② 市民の自主的・自発的な生涯学習活動の推進						
取組内容		<ul style="list-style-type: none"> ・図書館行事(おはなし会・講演会・講座・映画会・資料展示等)の実施 ・郷育カレッジとの連携による講座開催 ・行政機関や他機関(団体)との連携による多様な学習機会(コラボイベント)の提供 ・市民活動団体、自主学習グループ等への発表の場の提供 				
指標		令和6年度の状況			評価	令和7年度 数値目標
		目標値	実績	達成率		
貸出資料数(電子図書館を除く)	全体	629,504冊	607,190冊	96.5%	3	607,000冊
シニア(60歳以上)の利用状況	利用者数	62,222人	58,271人	93.7%	3	58,000人
	貸出資料数	209,879冊	202,253冊	96.4%	3	202,000冊
市民1人当たり貸出資料数		8.4冊	8.7冊	103.6%	3	8.7冊
資料回転率(電子図書館を除く)		2.6回	2.3回	88.5%	2	2.5回
貸出点数		2,000点	1,408点	70.4%	2	1,500点

電子図書館サービス（月平均）	資料回転率	2.5回	2.8回	112.0%	3	2.5回
	閲覧回数	4,000回	4,343回	108.6%	3	4,000回
映画会	開催回数	4回	1回	25.0%	1	—
一般市民向け、講座、講演会、セミナー等	開催回数	35回	35回	100.0%	3	37回
	参加者数	1,757人	1,953人	111.2%	3	1,960人
展示会等	開催回数	28回	34回	121.4%	3	31回
指標別評価（評点）の平均					2.7	

【成果と課題】

○資料の貸出利用状況等

①来館型サービス

令和6年度は、貸出資料数、利用者数ともに目標を下回りました。その一方で、市民1人あたりの貸出資料数は目標を上回りました。

②非来館型サービス（福津市電子図書館）

電子図書館は、月平均貸出資料数が1,408点と目標を下回りましたが、資料回転率が2.8回、閲覧回数が4,343回となり、目標を上回りました。今後はさらに小中学校への周知、HP等による広報活動や講座の開催など、認知度アップと利用促進を図るとともに、利用者のニーズに沿った選書を行う必要があります。

□電子図書館利用状況

年度	開館 日数	電子図書 数(点)	実利用者 数(人)	閲覧回数(回)		貸出資料(点)		蔵書回転 率(回)
				年間	月平均	総数	月平均	
R3年度	59	7,223	566	6,475	3,238	2,944	1,472	0.4
R4年度	365	7,560	5,358	51,787	4,316	28,233	2,353	3.7
R5年度	365	5,804	7,154	80,405	6,700	33,414	2,785	5.8
R6年度	365	6,002	4,403	52,121	4,343	16,893	1,408	2.8

○図書館行事、多様な学習機会の提供等

映画会の回数は目標を下回ったものの、一般市民向け講座、講演会等については、目標以上の参加者数となりました。今後も、企画内容、広報活動、開催時期など集客方法に工夫しながら開催していきます。

【今後の方向性・改善策等】

令和7年度以降も、読書ボランティア団体、行政、関係機関等との「つながり・応援・共働」を意識した取組をさらに充実し、図書館の利用促進、読書活動の推進等を図る必要があります。さまざまな機関・団体との連携・共働体制による発達段階に応じた読書推進活動等に力を入れ、若い世代の読書の習慣化に取り組みます。

評価項目③ 利用しやすく、ゆっくり滞在できる環境の構築					
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・貸出以外でも利用しやすい環境づくり ・情報発信、利用者アンケートによる満足度調査 				
指標	令和6年度の状況			評価	令和7年度 数値目標
	目標値	実績	達成率		
年間開館日数（2館平均）	283日	289日	102.1%	3	288.5日
市民登録率	39.8%	40.5%	101.8%	3	41.0%
来館者数	287,539人	301,005人	104.7%	3	301,000人
貸出利用者数	153,072人	134,943人	88.2%	2	135,000人
予約・リクエスト件数 （電子図書館を除く）	59,921件	44,748件	74.7%	2	44,700件
図書館費総額	168,618千円	198,171千円	117.5%	3	118,349千円
市民1人当たりの図書館費	2,459円	2,864円	116.5%	3	1,710円
利用者アンケート満足度 （総合的な評価）	90.0%以上	96.2%	106.9%	3	90.0%
指標別評価（評点）の平均				2.8	

【成果と課題】

○貸出以外でも利用しやすい環境づくり

開架室等の照明設備のLED化、掲示物の適正化で、館内環境の改善を図りました。一方、滞在型図書館としての機能（学習室やフリースペース等）を市立図書館に付加するための施設改修については、財政的な理由等で実現に至っておりません。

○広報活動・情報発信、インターネット等による利用促進、情報の提供

新規住民への図書館案内の配付、児童生徒向け図書館案内の作成・配付、ホームページ配信により図書館のPRやおすすめ本の紹介などを行いました。また、市広報誌への掲載、SNSの活用、図書館情報誌の発行を行い、図書館を利用したことのない人にも図書館の情報が届くようにしています。来館者数は昨年度に比べて増加しましたが、貸出利用者数や貸出資料冊数は前年度を下回りました。

□利用状況年度比較（福津市全体）

年度	開館日数 （日）	来館者 （人）	貸出利用者（人）		貸出資料（冊・点）	
			総数	1日平均	総数	1日平均
R3年度	228	224,685	143,873	631	558,844	2,451
R4年度	287	281,365	172,425	601	648,138	2,258
R5年度	279	287,539	153,072	549	629,504	2,256
R6年度	289	301,005	134,943	467	607,190	2,101

【今後の方向性・改善策等】

- ・図書館利用や読書人口の割合を高めるために、市の広報誌やソーシャルメディアなどさまざまな媒体を活用し、積極的な情報発信を行うことで、来館者や貸出利用者の増加、新規登録者の確保につなげます。
- ・読書活動推進（貸出利用者数の増加、年齢別・地域別利用状況の改善）のためには、登録率を高めたり、団体貸出等を充実したりする必要があり、ボランティア団体、郷づくり推進協議会や保育園、幼稚園、小学校等の関係機関（団体）との緊密な連携を図ります。
- ・図書館サービスの充実や親切、丁寧、迅速な対応に心がけ、利用者満足度を高めます。
- ・安全安心で快適な図書館環境を整備するために、計画的な改修、大規模改修や滞在型図書館としての機能付加に必要な予算を継続的に要望します。

評価項目④ 仕事や活動に役立つ資料等の提供

取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・暮らしや仕事に役立つセミナーの開催や各種専門機関との連携 ・カメラアステージ図書館と役割分担・連携による「ビジネスコーナー」「医療・健康情報コーナー」「子育て支援コーナー」などの充実 ・関係機関と連携によるチラシやパンフレット等の資料の収集と提供 ・関連講座等の開催、テーマ展示による情報提供などの検討 					
指標	令和6年度の状況			評価	令和7年度 数値目標	
	目標値	実績	達成率			
連携事業の連携先機関数	16 団体	13 団体	81.3%	2	10 団体	
自治体、企業、各種団体等と連携して実施した事業の件数	25 件	13 件	52.0%	1	10 件	
暮らしに役立つ講座、講演会、セミナー等	開催回数	6 回	8 回	133.3%	3	6 回
	参加者数	120 人	129 人	107.5%	3	120 人
指標別評価(評点)の平均				2.3		

【成果と課題】

令和6年度は、行政、各種専門機関等との連携を図ることはできたものの、目標を下回る結果となりました。図書館が地域の情報発信の拠点として活用される取り組みが不足していたものと思われます。

【今後の方向性・改善策等】

令和7年度以降も、行政や関係機関等との緊密な連携のもと、市民の暮らしや生活に役立つ情報の提供を図ります。また、子育てに役立つ情報や、ビジネス支援に関する先進事例を調査研究したりしながら、ビジネスコーナーの更なる充実に努めます。

評価項目⑤ 課題解決に役立つレファレンスの充実

取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・国立国会図書館協同データベースへの登録とその活用 ・ホームページや電子メール等によるレファレンスサービスの検討 ・商用データベース(新聞・雑誌、政策・法律、自然科学・医学、事典・辞書等)導入に向けての研究 ・他の図書館とのネットワークや関連機関との連携体制の強化 					
指標	令和6年度の状況			評価	令和7年度 数値目標	
	目標値	実績	達成率			
レファレンスについての利用者満足度	90%以上	90%	100.0%	3	90.0%	
図書館間相互貸借資料数	貸出数	1,616 冊	1,267 冊	78.4 冊	2	1,200 冊
	借受数	1,041 冊	1,073 冊	103.1%	3	1,000 冊
指標別評価(評点)の平均				2.7		

【成果と課題】

レファレンスに関する利用者満足度は目標を達成しました。

レファレンスの利用者満足度が高いのは、市民ファーストの視点で図書館サービスの提供に心がけ、来館者の方々への目配り、気配り、心配りの「3つの配慮」と親切、丁寧、迅速な接客・接遇に取り組んだ成果だと捉えています。この結果におごることなく、誠心誠意の応対に心がけ、学びや生活に役立つ「知の情報拠点」として認めていただけるよう、より一層努力を重ねます。また、時代の変化を敏感に受け止め、国・県、先進自治体等の最新情報を収集し図書館経営に取り入れ進化していきます。

【今後の方向性・改善策等】

令和7年度以降は、人づくりや地域づくりなどに貢献するために、レファレンス機能を高い水準で維持するとともに、市民の生活・仕事に関する課題や地域が抱える課題の解決に役立つよう、実用的な情報を提供するコーナーの設置・充実や、行政・専門機関等との更なる連携・共働に努めます。

評価項目⑥ 市民との連携・共働体制の構築						
取組内容		<ul style="list-style-type: none"> ・人と人との交流を生み出す仕掛けづくりや図書館施設等の利用促進 ・子ども読書活動推進ボランティアとの共催による「読書まつり」の開催 ・未来共創センター、市民共働・公民連携によるまちづくり活動への情報提供・活動場所の提供 ・地域コミュニティや目的別コミュニティとの連携 ・読書ボランティア、図書館運営サポートボランティア等の育成、連携及び支援 				
指標		令和6年度の状況			評価	令和7年度 数値目標
		目標値	実績	達成率		
読書ボランティア派遣回数		3回	3回	100.0%	3	4回
読書ボランティア養成講座受講者数		17人	12人	70.6%	2	14人
児童書等団体貸出資料数		8,980冊	9,273冊	103.3%	3	9,270冊
雑誌スポンサー 制度	協力者数	13人(者)	10人(者)	76.9%	2	7人(者)
	タイトル数	19種	13種	68.4%	1	10種
指標別評価（評点）の平均					2.2	

【成果と課題】

市民との連携・共働については、児童書等団体貸出資料が目標を上回った一方で、読書ボランティア養成講座受講者数が目標値を下回りました。

雑誌スポンサー制度は協力者数・タイトル数がともに目標に達していません。資料購入予算は年々厳しさを増していますので、協力事業者をさらに開拓する必要があります。

【今後の方向性・改善策等】

令和7年度以降も知の交流拠点として、ボランティア団体とのパートナーシップによる事業の推進、読書ボランティアの育成・支援、地域コミュニティや目的別コミュニティへのまちづくり活動の情報提供・活動場所の提供などを通じて、教育委員会の重点目標である、人づくり、地域づくりに貢献していきます。

また、福津市の図書館を利用することで、大人と子どもが読書の楽しみ方を共有し、子どもたちの感情をより豊かなものにできるよう、効果的な学習環境の提供、読書推進活動への支援等について両館で協議し、図書館サービスの充実・向上を目指します。

評価項目⑦ 職員の専門性の向上					
指標	令和6年度の状況			評価	令和7年度 数値目標
	目標値	実績	達成率		
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・スキルアップ研修や実務研修等への参加による先進情報の収集、資質・能力の向上 ・研修内容の共有化 ・地域やまちづくりの課題解決のための情報提供 				
組織内研修の実施・受講回数	49回	42回	85.7%	2	42回
専門性の向上につながる研修の受講回数	29回	10回	34.5%	1	10回
職員1人当たりの研修参加回数	11回	12回	109.1%	3	12回
指標別評価（評点）の平均				2.0	

【成果と課題】

研修に際しては、職員自ら意欲的・積極的に参加し、資質の向上、情報収集等に努めました。また、日々の業務に活かすとともに情報共有も図っています。

【今後の方向性・改善策等】

図書館サービスを向上させるうえで重要となってくるものは、スタッフ全員が基本となる業務への理解を深めて、利用される方へのサービスを正確に提供することだと考えます。効果的な研修を受講することは、さまざまな気づきや強い組織づくりへと繋がっていきます。

令和7年度以降も、職員のマネジメント能力や実務能力、専門性の向上を図るために、各種セミナー・講座、実務研修、専門研修等の受講や自己研鑽を奨励します。また、先進的な自治体（図書館）の事例に学び、利用者満足度の高いサービス提供に努めます。

評価項目⑧ 福津の魅力発見等に役立つ環境づくり						
取組内容		<ul style="list-style-type: none"> ・地域資料や行政資料の収集・活用・保存（再掲） ・郷土学習や次世代への継承に役立つ資料のデジタルアーカイブ化の検討 ・行政、郷育カレッジや関係団体等との連携によるまちの歴史・特色など魅力的な情報や学びの場の提供 				
指標	令和6年度の状況			評価	令和7年度 数値目標	
	目標値	実績	達成率			
地域資料数	5,074 冊	4,728 冊	93.2%	3	4,700 冊	
デジタル化した地域資料数	13 件	13 件	100.0%	3	13 件	
講座、講演会、セミナー等のうち市の歴史・文化等に関連性のあるもの	開催回数	2 回	2 回	100.0%	3	2 回
	参加者数	23 人	25 人	108.7%	3	20 人
指標別評価（評点）の平均				3.0		

※「地域資料数」「デジタル化した地域資料数」は、カメラアステージ歴史資料館所蔵の資料は含んでいません。

【成果と課題】

令和6年度は、行政等との連携により、まちの歴史・自然などの情報や学びの場を提供することができ目標を達成しました。福津には、自然や歴史、伝統、文化、遺産、偉人等、素晴らしい人・もの・ことがあふれています。図書館は「知の集積拠点」として、まちの歴史・特色など魅力的な情報や学びの場の提供ができるように、行政、郷づくり推進協議会、福津郷土史会をはじめ関係機関（団体）との結びつきを強め、福津の魅力発見等に役立つ環境づくりを進める必要があります。

【今後の方向性・改善策等】

公共図書館には、資料を収集・保存・提供し、市民の教養、調査研究、レクリエーション等に資するという図書館本来の目的に加え、市民生活を支える「知の拠点」、人づくりと地域づくりを担う「交流拠点」として、新しい交流や文化の創造に貢献していくことが求められています。

令和7年度以降も引き続き、市の自然保護活動やSDGsにつながる事業を企画します。また、歴史資料の保存、文化の継承、まちの価値や認知度・好感度アップにつながるよう、行政、関係機関等と更なるタイアップを図り、まちの歴史や魅力を学べる場の提供、郷土資料のデジタル化の推進等で、市内外の方に情報を発信していきます。

評価項目⑨ さまざまな個性や市民性を育む教育活動への支援						
取組内容		<ul style="list-style-type: none"> ・学校や学校図書館との連携 ・子育て世代や児童・生徒の読書活動への支援 				
指標	令和6年度の状況			評価	令和7年度 数値目標	
	目標値	実績	達成率			
資料（児童書）数		61,428冊	61,755冊	100.5%	3	62,000冊
子ども(18歳以下)の貸出冊数		71,856冊	71,777冊	99.9%	3	71,000冊
施設向け絵本セット貸出サービス	貸出回数	78回	137回	175.6%	3	135回
	開催回数	133回	110回	82.7%	2	110回
おはなし会	参加者数	1,264人	912人	72.2%	2	900人
	社会科見学等の図書館見学受入回数	5回	4回	80.0%	2	2回
職場体験（小・中学生等）の受入数		6人(2回)	5人(2回)	100.0%	3	3人(1回)
子ども司書養成講座受講者数		20人	20人	100.0%	3	10人
指標別評価（評点）の平均					2.6	

【成果と課題】

おはなし会の開催回数と参加者数、図書館見学の受入回数は目標を達成できませんでした。が、それ以外は概ね達成できました。

全国的に不読率が高くなる中・高校生への読書活動の推進、図書館利用の促進は継続して取り組む必要があると考えます。

【今後の方向性・改善策等】

福津市の図書館には、行政、郷育カレッジや関係団体、学校、家庭、地域とともに力を合わせ、市民性を持つ子どもたちを育成したり、まちの魅力・価値を伝えたりして、まちへの理解者・協力者、共感者を増やすことも期待されています。

令和7年度以降も、連携・共働体制による発達段階に応じた読書推進活動等を通して読書の習慣化を図り、福津の子どもたちが志をもち未来をたくましく切り拓く力や、人生をより深く生きる力を身につけてくれることを応援したいと考えます。教育委員会の施策や学校が行う「学びの循環・ひとづくり」への更なる貢献を果たします。

評価項目⑩ 郷土の歴史や文化が学べる環境の整備						
取組内容		<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関、地域活動団体、ボランティア団体等と連携・共働による図書館資源を活かしたサービスの提供 ・郷土学習や次世代への継承に役立つ資料のデジタルアーカイブ化（再掲） ・歴史資料館との連携による歴史・郷土学習への支援 ・行政、郷育カレッジや関係団体等との連携によるまちの歴史・特色など魅力的な情報や学びの場の提供（再掲） 				
指標		令和6年度の状況			評価	令和7年度 数値目標
		目標値	実績	達成率		
郷土学習支援、講座、セミナー、講演会等（行政、歴史資料館等との連携）	回数	2回	2回	100.0%	3	2回
	参加者数	23人	25人	108.7%	3	20人
展示会のうち市の歴史・文化の紹介等に該当するもの（開催回数）		1回	1回	100.0%	3	1回
指標別評価（評点）の平均					3.0	

【成果と課題】

カメラアステージ図書館は、複合施設の中にある歴史資料館と連動して利用できることは魅力の一つであると考えます。歴史・郷土学習への支援は、図書館の取組だけでは効果的でないため、歴史資料館を所管する文化財課や学校教育課等との更なる連携・共働が必要となります。

【今後の方向性・改善策等】

令和7年度以降は、行政、歴史資料館等と積極的に連携を図り、複合施設としての利点をより有効に活かせるよう取り組んでまいります。

(3) 図書館協議会の意見

図書館評価に関して、図書館協議会委員から次のとおり、ご意見やご提言をいただきました。

○評価項目③「利用しやすく、ゆっくり滞在できる環境の構築」について

A委員

視聴覚資料については、館内の視聴ブースでCDやDVDを鑑賞できるようであるが、最近はインターネット配信動画を視聴する人が多いので、そういう動画が見られるようになると良いのだが。

B委員

現時点で図書館として、インターネット動画配信サイトと契約するのは慎重にならないを得ないだろう。ただ今後は、インターネット動画等を図書館で提供できるものがないか調査研究することも必要だろう。

○評価項目⑥「市民との連携・共働体制の構築（読書ボランティア養成講座）」について

A委員

読書ボランティア養成講座受講者数の目標達成率が低い（自己評価2）。読書ボランティアに関心のある人は、他の講座に参加することも多いと思うのでその折にチラシを配布したり、すでに読書ボランティアをしている人の口コミを促したりするのも効果的だ。

B委員

読書ボランティアを募集する際は、「自己実現のためのボランティア活動」というような位置付けを明確に打ち出したほうが、若い人の心に響きやすいと思う。

C委員

学生さんなどにもボランティアの声掛けをしてみてはどうか。

A委員

私の知る保育短期大学の学生はとても熱心にボランティア活動をしている。大学では読み聞かせだけでなく、壁面構成など実習の一環で図書館を提供してもらっているようなので、そういう連携もできるかもしれない。

○評価項目⑥「市民との連携・共働体制の構築（雑誌スポンサー制度）」について

B委員

雑誌スポンサーが減少している。商工会等に雑誌スポンサーの案内チラシを送付したとのことだが、実際に相手に会って説明しないとスポンサーになってもらうのはなかなか難しいかもしれない。現在スポンサーになってもらっている事業者に対しても、契約更新のタイミングごとに直接会って継続のお願いをすることも大切である。

A委員

旅行雑誌やグルメ雑誌などの出版社に雑誌スポンサーの依頼を試みるのも有効な手段と思う

○評価項目⑦「職員の専門性の向上」について

B委員

研修の受講回数が少ないようであるが、図書館業務に直接関係するものだけでなく間接的な内容のものも含めれば受講できる研修はあると思う。例えば障がい者サービスに関する研修であっても、読書バリアフリー法に照らし合わせれば、本の知識だけでなく対象者に関する知識や理解がないと適切なサービスは提供できないことから、有意義な研修となる。そうやって受講すべき研修の幅を広げるべきである。

A委員

ニーズに合わせて自由に見学に行き新しい情報を得るなど、既成のセミナーだけに捉われない学び方もある。

○全体の評価について

D委員

図書館運営では、全てにおいてお金（予算）が絡んでくる。予算の獲得については努力が必要ではないか。

B委員

ただ積み上げて予算要求するだけでは予算の獲得は難しくなっている。図書館評価の中にも「資料費の増加について努力します」等の文言を加える必要があると思う。

5. 参考資料

(1) 令和6年度 図書館運営方針

■図書館経営方針の基本理念（目指す姿）

であう、つくる、つなぐ「知の交流拠点」
（市民の人生と地域を豊かにする図書館）
～本(情報)と人、人と人が出会い、思いを紡ぎ、新たな文化を創り、次代に繋ぐ～

福津市の公共図書館の使命は、市民同士のつながり、一人ひとりの自己実現、誰もが地域の担い手や未来の創り手となるよう、人づくり、つながりづくり、地域づくりを支える「知の交流拠点」として、新しい交流や文化の創造に貢献することです。

市立図書館は、図書館経営方針の基本理念である「市民の人生と地域を豊かにする図書館」の実現を目指し、次の3つの方向性（学びの拠点、創造と交流の拠点、知の集積拠点）から図書館サービスの向上・充実に取り組みます。

(1) 本（情報）との出会い、生涯学習活動等を支える図書館づくり

【市民に愛され、市民を育み、輝かせる「学びの拠点」】

①市民のニーズに応える幅広い資料の充実を図ります。

- ・市民の生涯学習を支援する資料の収集、保存、提供
- ・郷土資料、行政資料の収集、保存、提供
- ・障がい者や活字弱者に対する適切な資料の収集と提供
- ・電子図書館（非来館サービス）の充実
- ・計画的な蔵書管理（体系的な資料の収集・廃棄）
- ・特別整理（蔵書点検）期間を設け全館資料の整理・点検等の実施

②市民の自主的・自発的な生涯学習活動を支援します。

- ・図書館行事（おはなし会・講演会・講座・映画会・資料展示等）の実施
- ・郷育カレッジとの連携による講座開催
- ・行政機関や他機関(団体)との連携による多様な学習機会(コラボイベント)の提供
- ・市民活動団体、自主学習グループ等への発表の場の提供

③利用しやすく、ゆっくり滞在できる環境づくりを進めます。

- ・貸出以外でも利用しやすい環境づくり
- ・図書館ホームページの充実、図書館情報誌（広報誌）の刊行
- ・広報活動・情報発信、インターネット等による利用促進、情報の提供

(2) とともに支え合い高め合う図書館づくり

【市民と共働り、まちづくりを支える「創造と交流の拠点」】

①仕事や活動に役立つ資料等の提供を行います。

- ・暮らしや仕事に役立つセミナーの開催や各種専門機関との連携
- ・カメラアステージ図書館と役割分担・連携による「ビジネスコーナー」「医療・健康

情報コーナー」「子育て支援コーナー」などの充実

- ・関係機関と連携によるチラシやパンフレット等の資料の収集と提供
- ・関連講座等の開催、テーマ展示による情報提供などの検討

②課題解決に役立つレファレンスの充実を図ります。

- ・国会国立図書館協同データベースへの登録とその活用
- ・ホームページや電子メール等によるレファレンスサービスの検討
- ・商用データベース（新聞・雑誌、政策・法律、自然科学・医学等）導入に向けての研究
- ・他の図書館とのネットワークや関連機関との連携体制の強化

③市民参画、市民との連携・共働の体制づくりを支援します

- ・人と人との交流を生み出す仕掛けづくりや図書館施設等の利用促進
- ・子ども読書活動推進ボランティアとの共催による「読書まつり」の開催
- ・市民共働・公民連携によるまちづくり活動への情報提供・活動場所の提供
- ・地域コミュニティや目的別コミュニティとの連携
- ・読書ボランティア、図書館運営サポートボランティア等の育成、連携及び支援

④職員の専門性の向上に努めます。

- ・スキルアップ研修や実務研修等への参加による先進情報の収集、資質・能力の向上
- ・研修内容の共有化
- ・地域やまちづくりの課題解決のための情報提供

(3) シビックプライドの醸成に貢献する図書館づくり

【郷土の歴史や文化を未来につなげる「知の集積拠点」】

①福津の魅力発見や市民の「知りたい」に役立つ図書館づくりを進めます。

- ・地域資料や行政資料の収集・活用・保存（再掲）
- ・郷土学習や次世代への継承に役立てる資料のデジタルアーカイブ化の推進
- ・行政、郷育カレッジや関係団体等との連携によるまちの歴史・特色など魅力的な情報や学びの場の提供

②学校との連携・共働を深め、さまざまな個性や市民性が育つことを支援します。

- ・学校や学校図書館との連携
 - ▶市内小学校への長期貸出・リクエスト貸出・レファレンス対応、中・高校生へ向けてのヤングアダルトコーナーの充実、図書館見学、職場体験、インターンシップの受け入れ、学校（学校図書館）への支援など
- ・子育て世代や児童・生徒の読書活動への支援
 - ▶子育てマガジンの刊行、ブックスタート事業の実施、児童生徒向け情報誌の刊行やおはなし会の開催、保育園等への支援、読書ボランティアの育成や派遣、子育て支援コーナーの充実、子ども司書養成講座・フォローアップ講座の開催など

③郷土の歴史や文化を学べるための環境整備を図ります。

- ・関係機関、地域活動団体、ボランティア団体等と連携・共働による図書館資源を活かしたサービスの提供
- ・郷土学習や次世代への継承に役立てる資料のデジタルアーカイブ化

- ・歴史資料館との連携による歴史・郷土学習への支援
- ・行政、郷育カレッジや関係団体等との連携によるまちの歴史・特色など魅力的な情報や学びの場の提供（再掲）

(2) 令和6年度 福津市公共図書館の事業報告

①市立図書館

事業名	実施予定日	事業内容等
講座及び講演会		
図書館探検ツアー	4/21(日)	開架室の資料案内の他、閉架書庫やブックポストなど、普段利用者が入れないスペースも案内する。図書館のバックヤードを見学することで新たな発見(学び)を得たり、本・図書館への興味関心を高め親しみを感じてもらう。午前と午後の二部制。 【参加者:合計21名】
夏休み子ども環境講座	8/2(金)	「プラスチック包装容器と花王の取り組みについて」の話の後、エコバックを作るワークショップを開催。民間企業の取組等を紹介しSDGsへの理解や図書館の利用促進につなげる。【参加者:28名】 ※「持続可能なまちづくりに関する包括連携協定」に基づく花王グループとの連携事業
子ども読書活動のための著作権講座	9/10(火)	子ども読書活動にあたっての疑問の解消、有効な活動を実施するための学び【参加者33名】
歴史講座	11/3(日)	「立花宗茂と閻千代」と題し、宗茂と閻千代の人物像についての講義。歴史上の人物について諸説織り交ぜながら語ってもらうことで、歴史への興味関心を高め、読書の推進につなげる。 【参加者:51名】
読書まつり	11/20(水) ~11/24(日)	子ども読書連絡協議会と共働で読書活動の推進をはかる。 ・福津市子ども読書連絡協議会の活動パネル展 ・おすすめの絵本のテーマ展示(みんなちがってみんないい) ・親子で楽しむおはなし会 ・大人のためのおはなし会、子ども司書のおはなし会 ・新開 孝さん講演会「虫のしわざ探検」 ・布絵本であそぼう! 【参加者:131名】
講演会	1/26(日)	藤真知子氏(児童文学作家)による講演会 楽しい手品や子どもに大人気の「まじょ子」シリーズを紹介。【参加者31名】
各種展示		
ブックツリー本の木(こども)	4/16(火) ~5/12(日)	子どもの読書週間事業 来館者がおすすめの子どもの本を「木の葉の手紙」に書いてポストに入れる。紹介してもらった本を展示して貸出する。本の名前やおすすめ理由を書いた「木の葉の手紙」は木に貼り付けて展示する。【参加展示数70枚】
七夕飾り	6/28(金) ~7/7(日)	短冊に願いを書いて笹に飾りつけてもらう。 【短冊:364枚】
読書感想画展	11/1(金) ~11/10(日)	こども絵画教室の作品と募集した感想画を展示。今年度は福津イオン未来屋書店と初のコラボ。【総数393枚】
クリスマスツリー飾り	11/29(金) ~12/25(水)	クリスマスツリーのロビー展示にあわせて、クリスマス関連書籍(児童書)をコーナー展示し貸出する。

本の福袋	1/7(火)~8(水)	テーマごとにおすすめ本3冊の福袋をつくり、袋の表にテーマカードを貼付（子ども用は対象年齢も表示）する。普段自分では選ばない本との偶然の出会いを楽しんでもらう。【提供数:100袋（大人用50袋・子ども用50袋）】
年賀状展	1/7(火)~13(月)	来館者に季節を感じてもらい図書館に親んでもらうためのロビー展示。年末に一般募集した作品を展示する。募集時は関連図書を展示して貸出も行う。 【応募作品数:98点】
SDGsコーナー	通年	若い世代がSDGs（持続可能な開発目標）の知識を深めたり、取組みを知ったりすることで、身近な問題として興味・関心を高めてもらう。
健康・医療コーナー	通年	健康や医療に関する資料を集めた「健康・医療コーナー」を設置し、健康の維持向上、病気の治療や予防に役立ててもらおう。
がん情報コーナー	通年	がん関連の図書を集約し配架していた「がん情報コーナー」に、がんに関する資料や冊子をまとめた「がん情報ギフト（国立がん研究センター寄贈）」を展示し、利用者に提供。
特集コーナー	毎月更新	児童書（月1テーマ）と一般書（月2テーマ）を棚ごとに分けて、その時々にあわせた特集を組んで様々な本を紹介して利用促進につなげる。
広報ふくつ（特集記事等）の関連展示	毎月更新	広報ふくつの特集記事等にあわせ、紙面の紹介と関連書籍を展示し貸出を行う。
リサイクル		
児童書リサイクル	①6/4(火)~6/12(水) ②8/23(金)~9/6(金)	除籍となった児童書を利用者に無料で配布する。【提供数854冊（うち①県3冊、20団体370冊②2団体48冊譲与）学級担任、子ども読書連絡協議会（児童書R4-5年分）】
	11/19(火) ~11/27(水)	【提供数1,473冊（うち21団体801冊譲与）】
一般書・雑誌のリサイクル	随時	保存期限の切れた雑誌や除籍となった一般書を利用者に無料で配布する。 【提供数 2,975冊（一般書721冊、雑誌2,254冊）】
月例行事		
ブックスタート	年間13回予定	赤ちゃんに絵本の楽しさと「絵本」入りブックスタート・バックを贈る事業。4か月児健診時に実施。 【実施率:97.6%（贈呈 481人/対象者493人）】
土曜お話し会	土曜日	15:00~15:30（幼児対象） 【開催数:40回・参加者135名（子ども81名/大人54名）】
木曜お話し会0・1・2	第2木曜日	11:00~11:20（0~2歳児対象） 【開催数:9回・参加者146名（子ども74名/大人72名）】

不定期行事		
スペシャルおはなし会	12/7(土)	クリスマスおはなし会 【参加者:20名】
英語絵本のおはなし会	8/31(土)	九州産業大学学生によるおはなし会 大学（専門機関）と連携し英語に親しむ機械を提供することで、教育活動・読書活動の推進、多文化理解、図書館の利用促進等につなげる。 【参加者:19名】
読書ボランティア養成・派遣事業		
読書ボランティア派遣事業	6/6(木)、6/27(木)、 7/12(金)	読書ボランティアを要望のある団体・事業所等へ派遣する。【あゆみ保育園、双葉中央保育園、ふくつライオン保育園】
ストーリーテリング講座	①1/10(金) ②1/17(金) ③1/24(金) ④2/7(金) ⑤2/12(水) ⑥2/14(金)	読書ボランティア養成のための連続講座 【受講者:5名】
読み聞かせ講座	①10/10(木) ②10/17(木) ③10/29(火)	読書ボランティア養成のための連続講座 【受講者:7名】
施設向け絵本セット貸出事業		
施設向け絵本セット貸出サービス	通年	市内の幼保施設に絵本セット（30冊程度）を貸出。絵本に出会う機会を増やす 【貸出園数：16園・延べ回数137回・延べ貸出数9,273冊】
子ども司書養成事業		
子ども司書養成講座	①7/13(土) ②7/14(日)か15(月)選択 ③7/21(日) ④7/24(水) ⑤7/28(日) ⑥8/1(木) ⑦8/4(日)	子どもの読書環境を整える取り組みの一環として、読書活動を推進するリーダーを養成する。市内小学生4～6年生を対象に公募を行い、認定式と6講座を開催。 ①開講式・図書館のひみつ、②司書の仕事を体験しよう ③図書館の本を使ってしらべよう、④POPカードでおすすめの本を紹介しよう、⑤オリジナルの本を作ろう ⑥読み聞かせにチャレンジ！、⑦認定式、有志によるおはなし会 【受講者:20名（認定者:20名）】
子ども司書フォローアップ講座	3月予定	養成講座認定者へのフォローアップ講座
子ども司書の日（活動）	夏休み 冬休み 春休み予定	養成講座認定者（子ども司書）の活動体験の場 夏休み8/2(金)、8/3(土)、8/4(日)、8/7(水)、8/11(日)【延べ21人】 冬休み12/8(日)、12/14(土)、12/24(火)、12/25(水)、12/27(金)【延べ20人】
図書館協議会		
第1回	7/12(金)	令和4年度 図書館年報 令和5年度 図書館運営方針・事業計画
第2回	11/7(木)	令和5年度 図書館評価(案)
第3回	2/28(金)	令和6年度 事業報告(実績・予定)及び利用状況 令和7年度 図書館運営方針(案)・事業計画(案)

図書館見学		
日蔭野うみがめ保育園	1/28(火)	おはなしの部屋にて読み聞かせ 【参加園児:6名】 園児(年長)6名、先生2名
職場体験		
小学校 (神興東小6年生)	7/26(金)	働くことの楽しさ、厳しさや達成感を味わったり、異世代との交流によるコミュニケーション能力を高めたり、社会の基本的なルール、マナーや言葉遣いなどを身につけてもらう。 【参加者:5名(小学生3名・中学生2名)】
中学校 (福間中2年生)	9/13(金)	
図書館実習・インターンシップ		
短期大学	9/4~9/15	図書司書養成時の図書館現地実習生や就業体験に参加する学生などを受け入れる。
消防避難訓練	11/28(木)	災害、火災発生時、来館者や職員自身の安全確保に必要な知識と行動(危機管理意識、避難誘導、救急処置、消防への通報等)を身につける。 福津消防署、市職員、委託職員で実施
その他		
蔵書点検	9/25(水) ~9/30(月)	蔵書点検/書架整理/清掃作業
お日さまのうたサークル	第2土曜日	15:00~15:30(幼児対象) 【開催数10回 参加者73名(子ども44名大人29名)】
ふくつ語りの会	第3土曜日	14:00~15:10(幼児~小学校低学年・小学生~大人) 【開催数12回・参加者195名(幼児62名小学生55名大人78名)】
おはなしの国	第3木曜日	11:00~11:30 【開催数11回・参加者92名(子ども47名大人45名)】
英語絵本のおはなし会	第4土曜日	15:00~16:00 【開催数2回・参加者32名(子ども17名大人15名)】

②カメラアステージ図書館

事業名	実施日	事業内容等
各種イベント・講座及び講演会		
シニアサポート	4/7(日)	エンディングノートの書き方講座 講師:JAむなかた野ざく会館【参加者:11名】
雑誌リサイクル	4/10(水)~ 4/22(月)	保存期間切れの雑誌、不用となったマンガをお客様へ提供 【持ち帰られた冊数:2,221冊】
こどもの日 としょかんクイズ	4/20(土)~ 5/13(月)	「こどもの読書週間」に合わせて、としょかんクイズを開催し、本を読む楽しさを知ってもらうことで読書推進へつなげる 【参加者:128名】
選書ツアー	5/10(金)	書店で図書館に所蔵する本と一緒に選び、購入した本とその推薦文(POP)を館内で展示【参加者:5名】

バリアフリーワークショップ「点字にふれてみよう」	5/18(土)	点訳体験を主としたバリアフリーワークショップを開催 協力：社会福祉協議会様 【参加者：7名（子ども3名/大人4名）】
はじめての図書館「図書館ガイドツアー」	6/9(日)	小学生を対象に、楽しみながら図書の配置のルールやレシートの見方を学ぶガイドツアーを実施【参加者：11名】
子育て支援事業「学校に行きづらい気持ちの先に広がる世界」	6/29(土)	不登校や登校しぶりの状況にある子どもに対し、サポート資源についての情報を共有することで、保護者側の抱える不安を解消し未来への希望を繋ぐ 協力：不登校から育ちを考える ひなぎくの会様【参加者：8名】
ほしにねがいを	6/1(土)～7/8(月)	七夕の関連本を紹介。自由参加で短冊へ願い事を書いてもらい、笹や館内を季節装飾【参加者：568名】
ふくつなはなし「発掘調査のあゆみ方 発掘調査最前線 現場編 始まりから終わりまで」	7/27(土)	遺跡発掘現場における調査の始まりから終わりまでの工程の解説により、遺跡が学べる歴史講座 講師 / 福津市教育委員会文化財課 崎野 祐太朗氏【参加者：12名】
「夜のチョットこわいおはなし会」	8/9(金)	夜の薄暗くした部屋の中でストーリーテリングで少しだけ怖いお話を聞いた後、部屋を明るくしゲームやおばけのダンスで楽しむ【参加者：7組(子ども12名, 大人4名 計16名)】
夏休み工作教室「作って遊ぼう！かぜ自動車！」	8/11(日)	ふくつこどもまつりの一環として、小学生を対象とした工作教室を開催【参加者：20名】
夏休みとしょかんクイズラリー	7/20日(日)～8/31日(土)	夏休み期間中にクイズを楽しみながら読書の啓発を図り、図書館利用への理解を深める【参加者：251名】
防災企画「防災のススメー生き延びるためにー」	9/7(土)	福津市のまちづくり出前講座『災害に備える「自助、共助」の大切さ』を活用し、防災知識を学べるセミナーを実施 協力：福津市総務部防災安全課【参加者：5名】
多文化理解ワークショップ「せかいの国をもっと知ろう！いろんな国の給食のヒミツ」	10/27(日)	さまざまな国の文化の違いをクイズを通して学び、世界の国々に興味を持てるワークショップ【参加者：13名】
ぬいぐるみおとまり会	11/16(土)～11/17(日)	お気に入りのぬいぐるみを介して子どもを本や図書館とつなぐことを目的とする 【参加者：7組 23名（子ども9名/大人14名）】
読書ボランティア育成「読み聞かせのキソとコツ」	11/17(日)	絵本専門士を講師に招き、読み聞かせの活動に必要な基礎知識と技術の向上を図る 【参加者：7名】
大人向けイベント「おとなのための紙あそび/お正月に向けて美しいぼち袋を作る」	12/1(日)	年末年始に活用することの多いぼち袋を、和紙や折り紙などで手作りし、クイリングの手法を用いて美しく装飾することを楽しむ一般向けのワークショップ 【参加者：9名】
「自分だけのサンタクロースをつくろう」	12/1(日)～12/23(月)	来館者にサンタクロースを作り自分の手で館内に飾りつけてもらうことで、季節を感じ図書館に親しみや愛着を持ってもらうワークショップ【参加者：400名】
「小さなまちの小さな灯り展」関連企画	12/1(日)～12/21(土)	小さなまちの小さな灯り展に向けて、紙で作成したロウソクに毎日灯りをひとつずつ灯し、アドベントカレンダー式で当日までのカウントダウンを実施
本のまくらとおたのしみ袋	1/5(日)～1/13(月)	普段は手に取らないジャンルの本との出会いを提供し、読書の幅を広げ読書推進につなげることを目的とする【参加者：43名（子ども33名/大人10名）】
映画上映会	1/22(水)	映画上映会を開催「お終活 熟春！人生、百年時代の過ごし方」【参加者：96名】

「おたがいラクになるヒント」認知症の症状がある家族との暮らし	1/27(月)	家族や大切な人の認知症の症状に、対応や生活の工夫にはどんなものがあるのか、どこへ相談したらよいかなどを紹介する 協力：福津市地域包括支援センター様【参加者：5名】
高校生が大人にすすめるこの1冊	1/30(木)～ 2/24(月)	高校生から大人に向けて本を紹介(協力：光陵高等学校)
異世代間交流イベント「はじめてのeスポーツ」	2/9(日)	子どもだけでなくシニア世代の方にも年齢や経験を問わず楽しくeスポーツを体験してもらい、異世代間の交流を図ることを目的として開催 協力：福岡eスポーツ協会様【参加者：20名(子ども11名/大人9名)】
季節工作「気球のガーランドを作ろう！」	2/15(土)	身近な素材で季節を感じる工作を楽しむワークショップを開催
本の座談会「源氏物語のここが楽しい！」	2/22(土)	本に対する関心を広げ、図書館の利用促進と地域の方々との交流を図る
大人のためのおはなし会「おはなしのおもちゃ箱」第2弾	3/8(土)	地域で活動されている方のお話しを通して地域や人の繋がりを図る
子ども司書	3/15(土)	司書の仕事を通して図書館の魅力を伝え、読書の楽しさや本と人との結びつきを体験
文学座俳優による朗読公演「その日のまえに」	3/20(木)	重松清/作「その日のまえに」の朗読会
各種展示		
特集コーナー(一般書・児童書)	毎月更新	時節にあったテーマを設けての関連図書の企画展示
特集コーナー(ヤング)	3ヵ月更新	中高生を対象とした企画展示
広報ふくつの本棚	毎月更新	広報ふくつのテーマに沿った本を紹介
ビジネスコーナーの本棚	3ヵ月更新	ビジネス関連の特集
バリアフリーコーナー	通年	バリアフリー読書支援のコーナー
がんコーナー	通年	4類の場所にがんに関するパンフレットを設置
防災コーナー	通年	新刊コーナー裏に資料の設置と展示
求人コーナー	通年	ビジネスコーナーにハローワーク求人情報を設置(週1更新)
フリーペーパー「SUNDAY」コラボ本棚	毎月更新	「SUNDAY」図書館が選んだ今月の本「今読みたい本」のコーナーでカメラのおすすめ本を紹介
POPコーナー	通年	かたやまPOP工房の片山茂さんのPOPを展示
ふくつなたな	通年	福津に関連した資料の展示
あなたがすすめるこの一冊	毎月更新	図書館利用者の方による本の紹介
地域のチラシ・パンフレット	通年	地域のチラシ・パンフレットの設置
福津のめぐみで料理名人	7/1(月)～ 8/31(土)	福津市子育て世代包括支援課との共催夏休みチャレンジ企画として料理本や、郷土料理の本を集めた展示
夏休み宿題サポート「夏休み宿題応援コーナー」	7/1日(月)～ 8/31日(土)	読書感想文の課題図書や読書感想画、自由研究の本など、夏休みの宿題をサポートする本を集めた特設コーナーを設置
選書ツアー特設本棚	8月	5月開催「選書ツアー」選書者の書評(ポップ)を展示して紹介

8月15日終戦記念日特別展示「戦争を知る」	8/1(木)～8/26(月)	絵本や児童書の中から戦争についてのおはなしや、平和について考える展示
防災のススメ	8/29(木)～9/23(月)	9月の防災月間に合わせて防災展示を実施。地震から身を守るための備えについての資料の展示と関連書籍を紹介し、地域の方々の防災意識を高める
敬老の日読書のすすめ	8/29(木)～9/23(月)	読書推進運動協議会の「心ゆたかに生涯読書」の運動に連動した本棚
小学生読書感想画コンクール作品展	11/1(金)～11/10(日)	「小学生読書感想画コンクール読んだ感想を自由に描こう！作品展」未来屋書店・イオンモール福津・福津市教育委員会共催 応募期間：7/22～9/1応募作品合計：393作品 展示：福津市立図書館/カメラアステージ図書館：11/1～10
今年の漢字	11月	「ゆく年くる年伝える一文字今年の漢字2024」日本漢字能力検定協会が募集している今年の漢字の応募箱と一緒に、関連本を紹介するコーナーを設置。
「おたがいがラクになるヒント」認知症の症状がある家族との暮らし	12/26日(木)～1/27(月)	認知症について学べるパネル展示と子どもへも理解を深められる認知症クイズを実施
追悼展示	随時	今年度にも、お亡くなりになった方々の著作や関連資料を展示
月例行事(おはなし会)		
NPO法人福岡津屋崎子ども劇場 おはなしの国	毎月第2水曜日	わらべ歌・読み聞かせ 対象年齢：乳幼児
おひさまのうたサークル	毎月第2土曜日	読み聞かせ・紙芝居・エプロンシアター・手話でうたおう 対象年齢：幼児～小学校低学年
図書館見学・視察		
勝浦小学校	7/17(水)	図書館見学【参加者：14名 (+引率者4名)】
福岡市民政治ネットワーク	7/29(月)	図書館見学【参加者：11名 (子ども6名、大人5名)】
光明幼稚園	11/14(木)	図書館見学【参加者：56名 (+引率者7名)】
危機管理訓練・研修・講習		
研修	5/20・7/1 11/25	5月個人情報研修・フードドライブ/11月ユニバーサル研修・危機管理災害対応研修/2月接客接客研修・人権研修予定
防災訓練・研修	6/18(火)	消防避難訓練/消火訓練/防災機器取扱い講習/救命救護講習/AED講習会/ビジネスマナー講習
	3/18(火)	
その他		
図書館システム更新 蔵書点検	10/3(木)～7(月)	蔵書点検/書架整理/清掃作業
図書館だより発行	6/9/12/3月	年4回の季刊発行 館内に図書館だよりと連動した本棚も設置
お客様調査(対面式)	12/11(水)～16(月)	お客様に直接意見を伺う形式の聴きとり式お客様調査
TRCブックキャラバン	6/26(水)	図書館流通センター担当者セレクトによる既刊本の見計らいの中から本の選定を行う

(3) 福津市公共図書館の経営方針（抜粋）

福津市の図書館は、すべての国民に図書館利用の権利を保障するという公立図書館の基本理念¹や「ユネスコ公共図書館宣言 1994 年」の意義²を踏まえるとともに、市の将来像のために設定された7つのテーマ別目標像³および福津市教育総合計画が掲げる基本目標⁴が地域社会に実現されるように、図書館の基本理念と基本方針を次のように定めます。

(1) 基本理念

であう、つくる、つなぐ「知の交流拠点」 (市民の人生と地域を豊かにする図書館)

～本(情報)と人、人と人が出会い、思いを紡ぎ、新たな文化を創り、次代に繋ぐ～

図書館は、地域の情報拠点、生涯学習の中核施設等であるとともに、さまざまな世代が自由に利用でき、いろんな知識や経験、価値観をもった市民が集う交流施設です。

福津市の図書館は、基本理念に「市民の人生と地域を豊かにする図書館(知の交流拠点)」を掲げ、市民同士のつながり、一人ひとりの自己実現、誰もが地域の担い手や未来の創り手となれるよう、市民生活を支える「知の拠点」とともに、人づくりと地域づくりを担う「交流拠点」として、新しい交流や文化の創造に貢献します。本(情報)との出会い、人との出会い、本や学び、交流を通して、多様な思いを紡ぎ、まちづくりや人づくりの活動の輪を広げ、新たな文化を創造し、未来に繋いでいきます。

(2) 基本方針

1	市民に愛され、市民を育み、輝かせる「学びの拠点」 ◎本(情報)との出会い、生涯学習活動等を支える図書館づくり
2	市民と共働し、まちづくりを支える「創造と交流の拠点」 ◎ともに支え合い高め合う図書館づくり
3	郷土の歴史や文化を未来につなげる「知の集積拠点」 ◎シビックプライドの醸成に貢献する図書館づくり

¹ 公立図書館の基本理念: 図書館は、基本的人権のひとつとして知る自由をもつ国民に、資料と施設を提供することをもっとも重要な任務とする(図書館の自由に関する宣言)。

² ユネスコ公共図書館宣言の意義: 公共図書館は、地域の情報センターであり、個人および社会団体の生涯学習、独自の意思決定および文化的発展のための基本的条件を提供する。

³ 7つのテーマ別目標像: 市の将来像を実現するために設定された「1. 共 育: 誰もが「未来の創り手」として育つまち」「2. 地域自治: 人がつながり活躍する共助と共働のまち」「3. 健 康: 健康で生き生きと暮らせるまち」「4. 安全安心: 安全・安心・快適に住み続けられるまち」「5. 環境保全: 自然・歴史・景観などの資源が守られ生かされるまち」「6. 地域産業: 地域の産業が経済を支えるまち」「7. 観光振興: 福津の魅力を生かした持続可能な観光のまち」のこと。

⁴ 福津市教育総合計画の基本目標: 「あたたかな未来を創る 福津の教育 ～人・自然・文化がつながる 人づくり・まちづくり～」

基本理念である「である、つくる、つなぐ『知の交流拠点（市民の人生と地域を豊かにする図書館）』」を目指すためには、資料を収集・保存・提供し、市民の教養、調査研究、レクリエーション等に資するという図書館本来の目的に加え、市立図書館に「学びの拠点」、「創造と交流の拠点」、「知の集積拠点」としての機能を付加することが不可欠です。

例えば、知識・学びの場に加え、つながる場を核とする図書館とするために、図書館を3つの空間（書齋的な空間、静かな活動空間、賑わい（学び・創造・交流）の空間）にゾーニングし、「滞在型交流施設」として施設再生（リニューアル）・機能充実を図る必要があります。

また、シビックプライド（まちに対する誇りや愛着）の醸成・向上に寄与したり、郷育カレッジをはじめとする関係団体（機関）や、郷づくり推進協議会などの地域コミュニティ、教育・文化・環境・福祉等から生まれる目的別コミュニティなど、市民活動・共働活動の団体が行う、まちづくり、人づくりを支えたりすることも使命の一つになると考えます。

福津市は、現在の世代と将来の世代の両方の希望を満たすような持続可能なまちづくりをめざしています。一人ひとりの人生や地域社会を豊かにし、未来に向けて持続可能な社会の担い手を育てる人づくり、まちづくりに貢献することが、市民とともに進化し続ける図書館としての役割になると言えます。

そこで、基本方針に3つの方向性と取組方針を示し、基本理念の実現を図るとともに図書館サービスを提供する役割を果たしてまいります。なお、基本方針に基づく、具体的な取組（事業）については、毎年度、図書館運営方針と事業計画を策定し実施していきます。

①市民に愛され、市民を育み、輝かせる「学びの拠点」

◎本（情報）との出会い、生涯学習活動等を支える図書館づくり

- 市民のニーズに応える幅広い資料の充実を図ります。
- 市民の自主的・自発的な生涯学習活動を支援します。
- 利用しやすく、ゆっくり滞在できる環境づくりを進めます。

②市民と共働し、まちづくりを支える「創造と交流の拠点」

◎ともに支え合い高め合う図書館づくり

- 他の図書館とのネットワークや関連機関との連携体制の強化を図ります。
- 市民参画、市民との連携・共働の体制づくりを支援します。
- 仕事や活動に役立つ資料等の提供を行います。
- 課題解決に役立つレファレンスの充実を図ります。

③郷土の歴史や文化を未来につなげる「知の集積拠点」

◎シビックプライドの醸成に貢献する図書館づくり

- 福津の魅力発見や市民の「知りたい」に役立つ図書館づくりを進めます。
- 学校との連携・共働を深め、さまざまな個性や市民性が育つことを支援します。
- 郷土の歴史や文化を学べるための環境整備を図ります。

(3)基本理念と基本方針の関係図

基本理念 (目指す姿)	<p style="text-align: center;">であう、つくる、つなぐ「知の交流拠点」 (市民の人生と地域を豊かにする図書館) ～本(情報)と人、人と人が出会い、思いを紡ぎ、新たな文化を創り、次代に繋ぐ～</p>		
基本方針 (3つの方向性)	市民に愛され、市民を育み、輝かせる「学びの拠点」 ◎本(情報)との出会い、生涯学習活動等を支える図書館づくり	市民と共働し、まちづくりを支える「創造と交流の拠点」 ◎ともに支え合い高め合う図書館づくり	郷土の歴史や文化を未来につなげる「知の集積拠点」 ◎シビックプライド(まちに対する誇りや愛着)の醸成に貢献する図書館づくり
視点 (ねらい)	共有・共同 ▶滞在型図書館としての環境整備 ▶生涯学習活動の推進	共働・共創 ▶課題解決型図書館への進化 ▶交流・共働活動への支援	共感・共育 ▶学びの循環・ひとづくりへの貢献 ▶行政、教育機関等との連携
取組方針	<input type="checkbox"/> 市民のニーズに応える幅広い資料の充実を図ります。 <input type="checkbox"/> 市民の自主的・自発的な生涯学習活動を支援します。 <input type="checkbox"/> 利用しやすく、ゆっくり滞在できる環境づくりを進めます。	<input type="checkbox"/> 他の図書館とのネットワークや関連機関との連携体制の強化を図ります。 <input type="checkbox"/> 市民参画、市民との連携・共働の体制づくりを支援します。 <input type="checkbox"/> 仕事や活動に役立つ資料等の提供を行います。 <input type="checkbox"/> 課題解決に役立つレファレンスの充実を図ります。	<input type="checkbox"/> ふくつの魅力発見や市民の「知りたい」に役立つ図書館づくりを進めます。 <input type="checkbox"/> 学校との連携・共働を深め、さまざまな個性や市民性が育つことを支援します。 <input type="checkbox"/> 郷土の歴史や文化を学べるための環境整備を図ります。
主要施策	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な図書館サービスの充実 ・社会的包摂、ユニバーサルデザインの視点に立った読書の「バリアフリー化」 ・多文化サービスの提供 ・広報活動・情報発信、インターネット等による利用促進、情報の提供 ・電子書籍(非来館型サービス)の導入 ・カメラステージとの連携、役割分担による図書館運営 ・多様な学習機会や発表の場の提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域やまちづくりの課題解決のための情報提供 ・市民が交流する場や機会の提供 ・幸せのまちづくりラボ(仮称)、市民共働・公民連携によるまちづくり活動への情報提供・活動場所の提供 ・地域コミュニティ・目的別コミュニティとの連携 ・読書ボランティア、施設管理運営サポートボランティア等の育成、連携及び支援 ・暮らしや仕事に役立つセミナーの開催や各種専門機関との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域資料や行政資料の収集・活用・保存 ・郷土学習や次世代への継承に役立つ資料のデジタルアーカイブ化 ・歴史資料館との連携による歴史・郷土学習への支援 ・社会に開かれた教育課程の実現に向けた学校(学校図書館)への支援と連携 ・行政、郷育カレッジや関係団体等との連携によるまちの歴史・特色など魅力的な情報や学びの場の提供 ・子どもの読書活動の推進

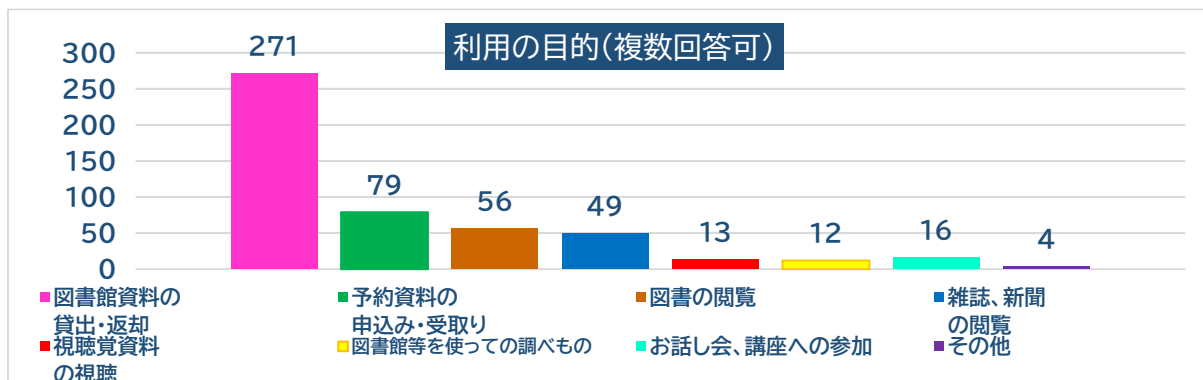
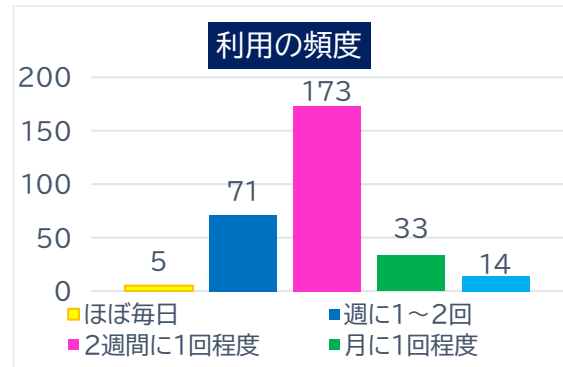
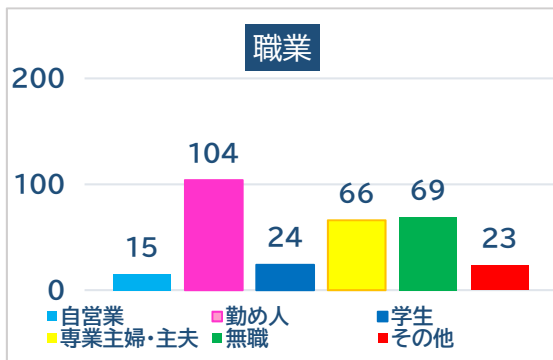
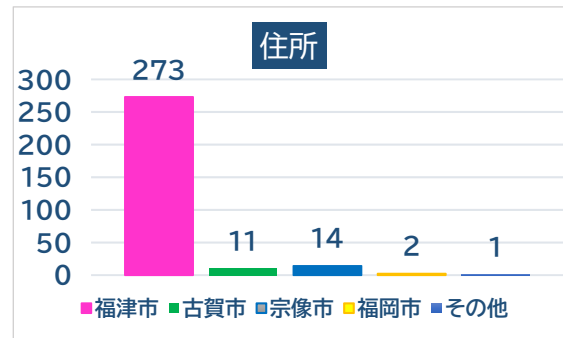
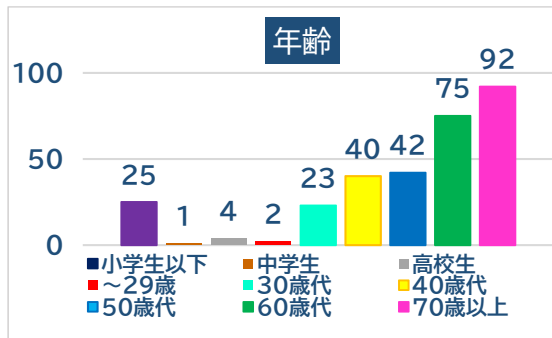
(4) 図書館利用に関するアンケート

令和6年度 福津市立図書館利用に関するアンケート 集計結果

令和6年度図書館利用に関するアンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。いただいた貴重なご意見を今後の図書館運営の参考にし、皆様のご要望にお応えできるよう一層精進してまいります。 ※無回答の項目は除いて集計しています。

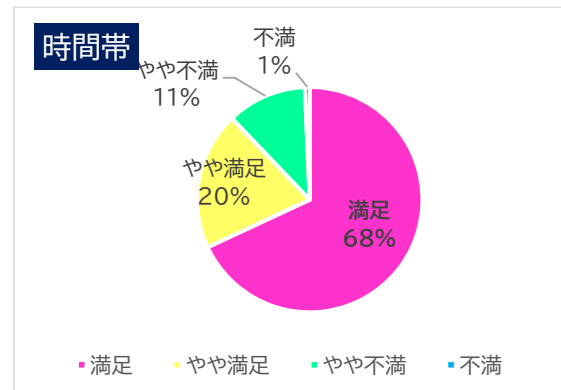
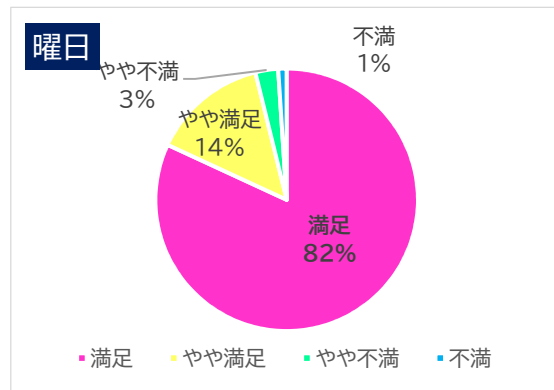
(実施月：令和7年1月・回答者数：305人・配付数：867枚)

Q1 あなたについてお聞かせください。

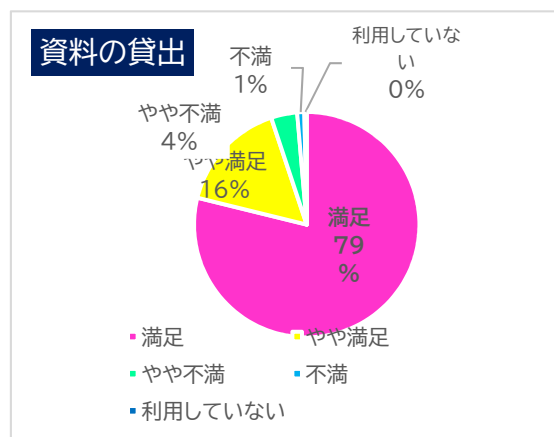


Q2 図書館サービスについて 次の項目について、どれくらい満足されていますか。

■利用できる曜日・時間帯



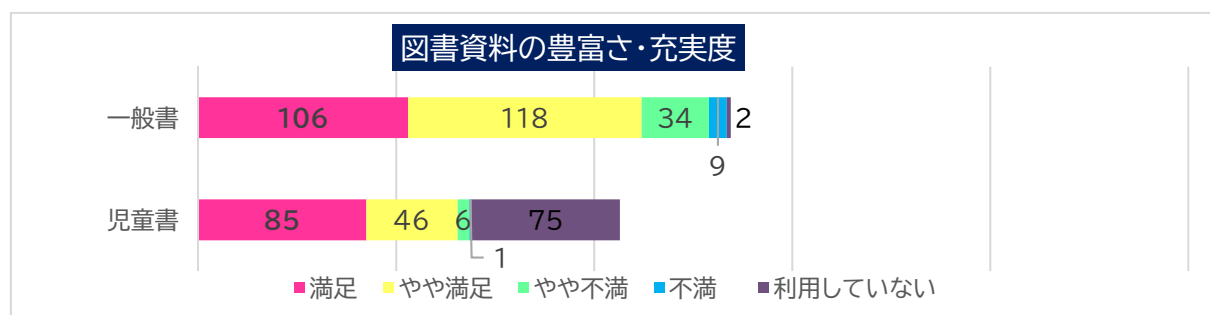
■資料の貸出



福津市の図書館は「市民の人生と地域を豊かにする図書館」を基本理念に掲げています。皆様の生涯学習の場となりますよう 今後も図書館資料の充実や様々な図書館サービスを提供してまいります。

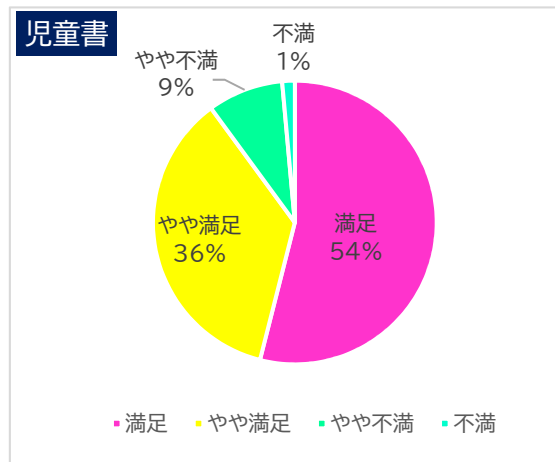
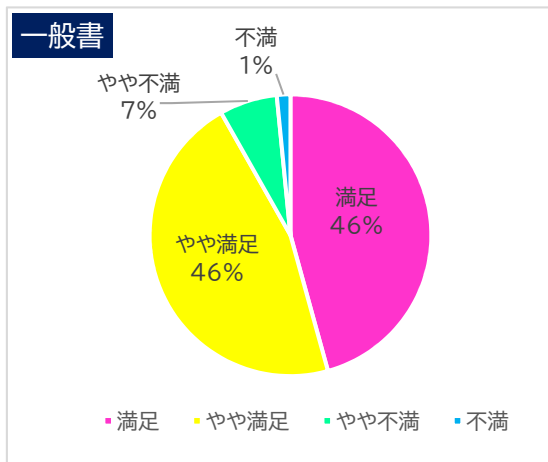


■図書資料の豊富さ・充実度(種類・量)

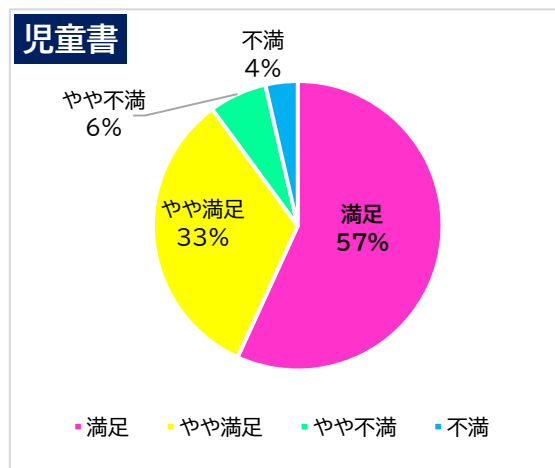
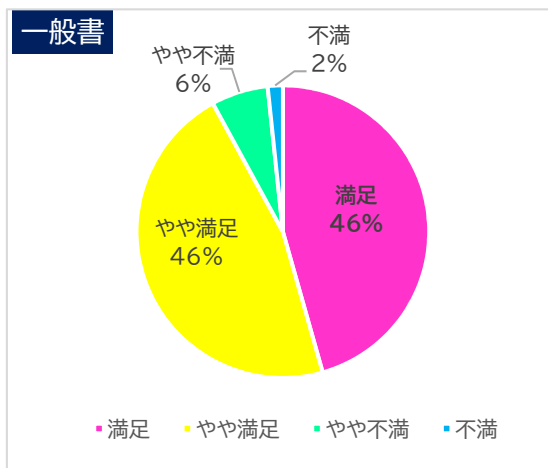


■資料の探しやすさ

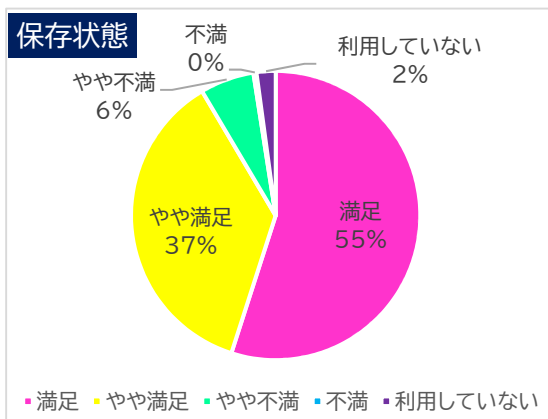
◇案内表示



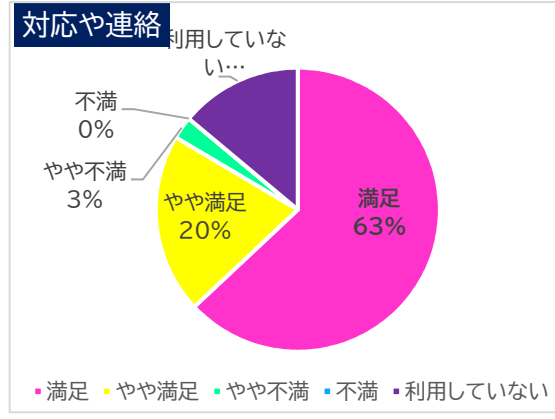
◇資料の並べ方



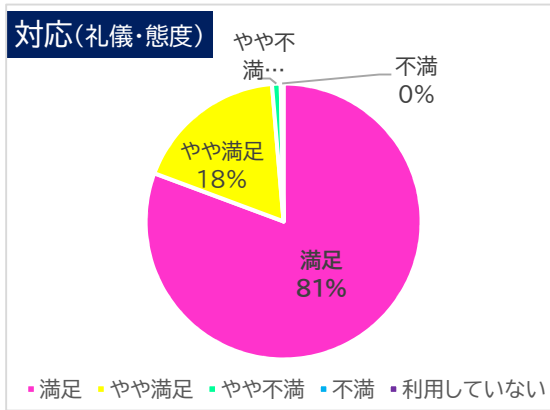
■資料の管理



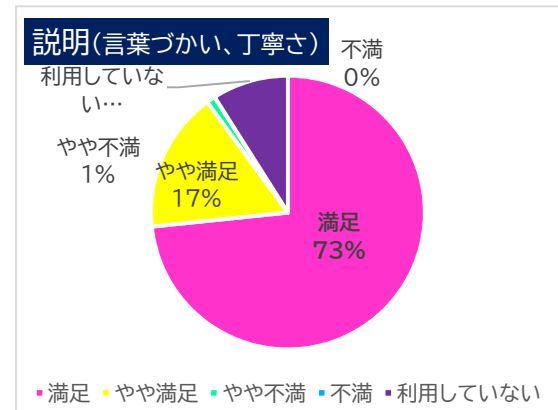
■予約・リクエスト



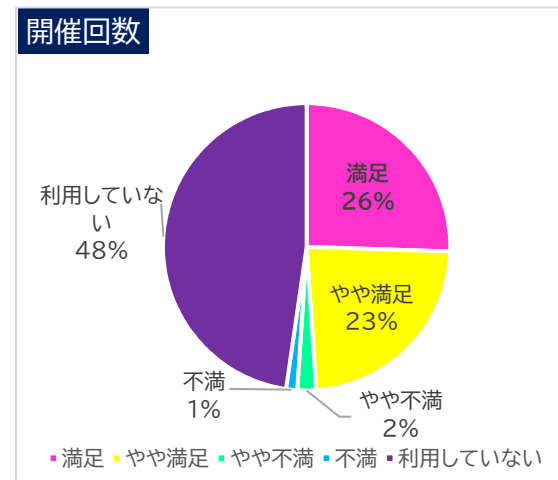
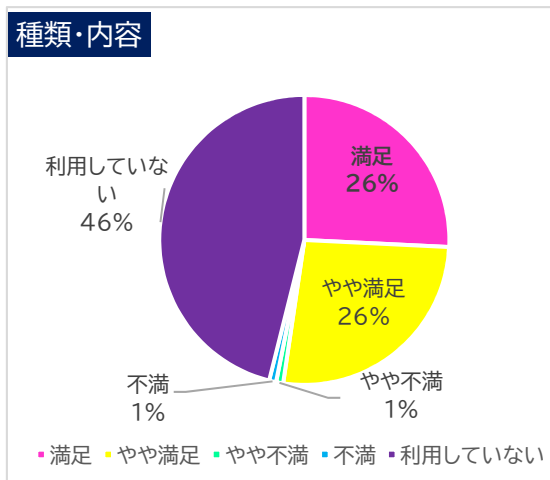
■ スタッフの接遇、コミュニケーション



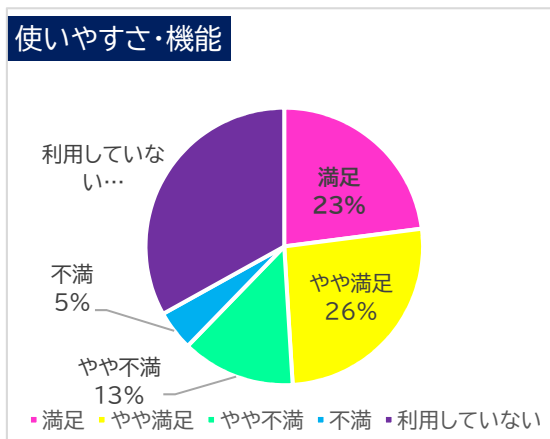
■ レファレンス(スタッフへの相談)



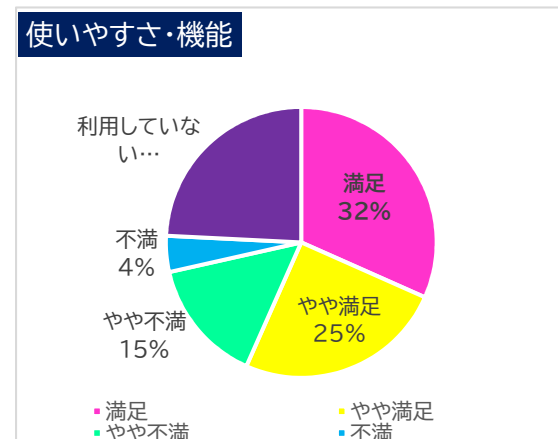
■ 展示会・講演会・読書イベント



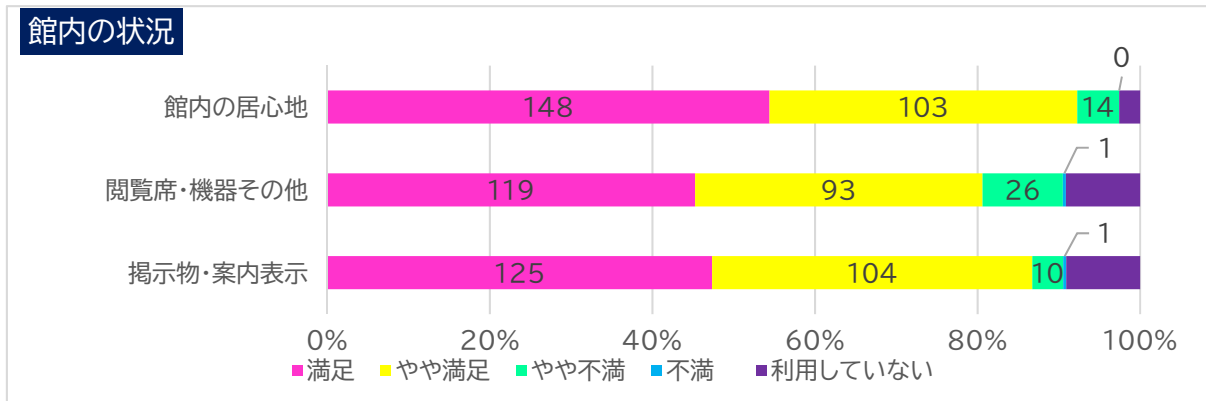
■ ホームページ



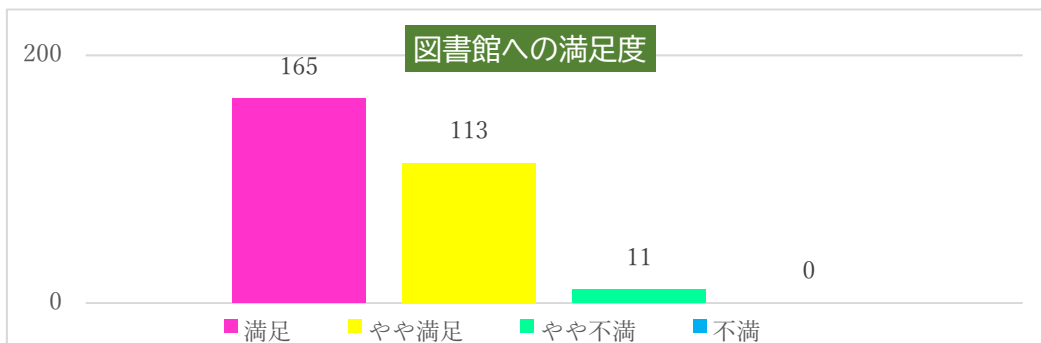
■ 利用者端末



■館内の状況(施設・設備・掲示物など)



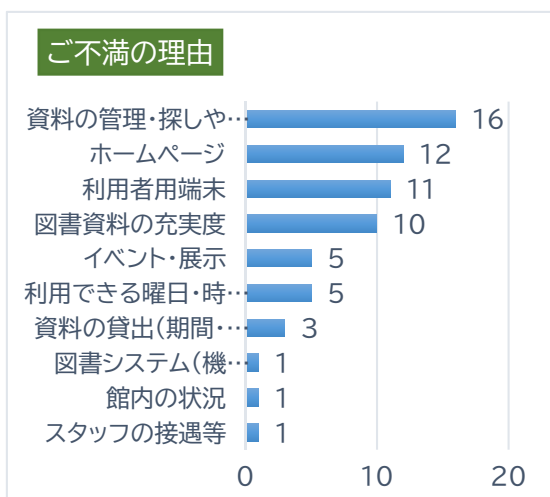
■総合的な評価



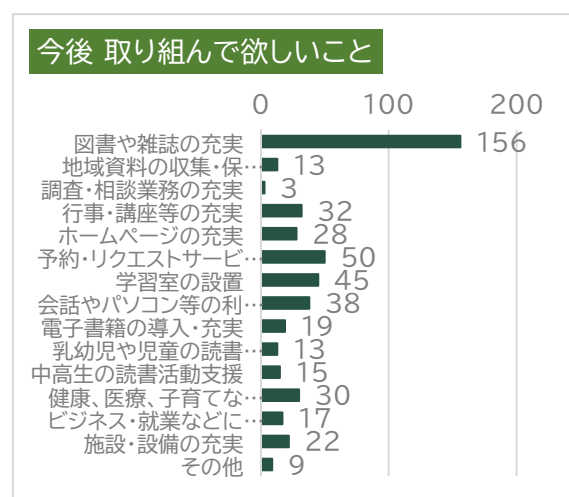
総合的な評価(図書館への満足度)は2.53点でした。(昨年度2.48点)

※評価は3点満点(満足3点・やや満足2点・やや不満1点・不満0点)です。

Q3 Q2で「不満」とした項目について、その理由をお書きください。



Q4 今後、図書館でもっと取り組んでほしいことを選んでください。



(5) 福津市の図書館

①市立図書館



市立図書館は、1992(平成4)年4月に福間町役場(現福津市役所)横に開館しました。本との出会い、人との出会い、本を通して人と人をつなぐために、また、情報発信だけでなく市民の夢と創造のどちらも交差する場となれるよう、「夢と創造の交差点。」をコンセプトとしています。

◎構造 鉄筋コンクリート造 3階建て
◎占有延床面積 2,761.20 ㎡
うち1階(1,161.98 ㎡)・2階(792.34 ㎡)

市民が気軽に立ち寄れるコミュニケーションスペースとして、館内の床、書棚や机などの木目色を明るい色で統一し、親しみやすく、ぬくもりがあり、静かな雰囲気が漂う図書館です。市民の読書への関心・意欲はとて高く、また読書ボランティア等との連携・共働によって、市民1人当たりの貸出資料数や蔵書の回転率は、県内トップクラスの水準にあります。

現在、これらの役割に加え、市民一人ひとりの生涯にわたる学習活動を支え、暮らしや仕事、地域の課題解決に役立つ情報の提供を行うなど、人づくりと地域づくりに貢献できる「知の交流拠点」として、市民に愛され、親しまれ、市民とともに進化し続ける図書館をめざしています。



②カメラアステージ図書・歴史資料館



津屋崎庁舎(旧津屋崎町役場)を改装し、2017(平成29)年7月に開館した「図書・歴史資料館」の外観は、津屋崎千軒のイメージに併せ「蔵」をコンセプトにしています。蔵は古くから家財や貴重なものを貯蔵するための建物であり、次代に引き継ぐ役割をもっています。

2階のカメラアステージ図書館は、約5万冊の図書資料を配置し、レファレンス機能を持たせています。「子どもの声が聞こえる図書館」をコンセプトに、すべての人が気兼ねなく利用できる図書館として、暮らしの中の滞在型交流施設となっています。その日の自分の目的に応じて使い分けができる「学習室」「親子読書室」「子育て室」のほか、1階にはカメラアカフェも設置し、一人でも、親子でも、仲間とでも気軽に楽しめる心地よい居場所、魅力的な空間を提供しています。

図書や歴史資料等の文化と情報を集積し、新しい世代に引き継いでいくこの施設は、福津市の「蔵」であり、文化活動の推進や地域の賑わいの創出を進めるための、地域の拠点として大きな役割を果たします。



◎構造 鉄骨造 3階建て(うち2階部分)
◎占有延床面積 1,325.00 ㎡(1階の閉架書庫整理室等を含む)
・図書書架(全11コーナー)
・親子読書室(38.2 ㎡)、子育て室(18.0 ㎡)、AVブース(14.2 ㎡)、学習室 50.0 ㎡)
・貸出カウンター(49.6 ㎡)、作業室(12.7 ㎡)、多目的室(33.5 ㎡)

福津市の図書館評価(令和6年度版) 令和7(2025)年12月

福津市教育委員会 教育部 郷育推進課

〒811-3293

福岡県福津市中央1丁目1番1号

TEL 0940-52-5078 FAX 0940-43-9004

E-mail goiku@city.fukutsu.lg.jp

◎福津市立図書館

〒811-3217

福岡県福津市中央1丁目1番2号

TEL 0940-42-8000 FAX 0940-42-8118

E-mail library-fukutsu@wine.ocn.ne.jp

◎カメリアステージ図書館

〒811-3304

福岡県福津市津屋崎1丁目7番2号

TEL 0940-72-1207 FAX 0940-72-1210

E-mail lib@camellia-st.com